

三重県の文化財保護

—平成3年度—



1992.3

三重県教育委員会

例 言

1. 本書は三重県教育委員会文化部文化振興課が平成3年度に実施した、指定文化財および埋蔵文化財の保護事業等をまとめたものである。
2. 国史跡齋宮跡をはじめ埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館および三重県埋蔵文化財センターが別途、年報として報告している。
3. 市町村新指定・解除の文化財および文化財愛護強調週間行事、文化財防火デー行事及び文化財愛護活動推進方策研究委嘱については、市町村教育委員会からの報告をまとめたものである。

目 次

I	文化財調査事業	1
1	国選択「北勢・熊野の鯨船行事」映像記録作成	1
2	天然記念物ネコギギ生息分布調査	1
3	特別天然記念物カモシカ保存対策緊急調査	3
4	名張藤堂家歴史資料調査	4
5	発掘調査	4
6	遺跡詳細分布調査	5
7	重要遺跡確認緊急調査	5
II	文化財保護事業	6
1	文化財保存修理事業	6
2	史跡等活用特別事業	7
3	文化財防災施設	7
4	無形文化財の伝承	7
5	無形民俗文化財の伝承・記録保存	7
6	特別天然記念物カモシカ保護対策	7
7	史跡等買い上げ	8
8	民間による保護事業	8
III	文化財管理・普及事業	9
1	文化財の指定等	9
2	文化財管理	16
3	文化財普及・公開	34
4	登録審査会	40
5	組 織	41
	(参考) 県内の国・県指定文化財	42

I 文化財調査事業

1 国選択「北勢・熊野の鯨船行事」映像記録作成—第2年次— (国庫補助事業・事業費3,028千円)

平成元年2月27日付で、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された「北勢・熊野の鯨船行事」について、映像（ビデオ）記録作成を行う事業である。2ヶ年計画の2年次。

鯨船行事は、伝統的な捕鯨習俗を伝えるとともに、三重県のみに残る貴重な漁撈儀礼であり、北勢地方では船型の山車の上で少年が、鯨突きの所作を演じる形で行われ、熊野地方では実際に海上へ船を漕ぎ出し、鯨を突く所作を行うものである。

記録作成は、第1年次と同様MMC（メディア・マーケティング・クリエイト）に委託し、ビデオ3本（総集編・四日市市富田編・四日市市南納屋町編）を作成した。なお、第1年次にはビデオ2本（四日市市磯津編・楠町南五味塚編）を作成している。

(三重県の鯨船行事)

地域	地 区	内 容
北	四日市市富田	鳥出神社例祭（8月14・15日）に、北組、中組、南組、古川組の4台の鯨船により行われる。
	四日市市南納屋町	現在は大四日市まつり（8月第1土・日）の中で演じられる。戦前の四日市祭りには他に北納屋町、東袋町も鯨船を出していたが、戦災で消失。
	四日市市七つ屋町	御園神社の祭礼に奉納されていたが、現在は行われていない。鯨船は残っている。
	四日市市磯津町	塩崎神社の祭礼（9月22・23日）に行われる。
	楠町南五味塚	南御見東神社の祭礼（10月9・10日）に行われる。
勢	鈴鹿市長太	かつては天王祭（8月1日）に行われた。昭和41年以降中断していたが、平成3年に飯野神社例祭（10月9・10日）で復活した。明治24年までは2地区、2台で行っていたと伝えられる。
	熊野	
熊野	海山町白浦	大白祭（旧暦6月14日）に海上で行われたが、現在は行われていない。彩色を施した船は残っている。
	尾鷲市梶賀	ハラソ祭（1月15日）に行われる。海上で行われる唯一の行事である。

2 天然記念物ネコギギ生息分布調査—第3年次— (県費直営事業・事業費1,500千円)

ネコギギ（昭和52年7月2日指定）は、伊勢湾に注ぐ河川にのみ生息する稀少魚である。近年の急速な流域周辺の開発行為によって、本種の生息が危ぶまれる状況にあり、レッドデータブック（環境庁、1971）に絶滅危惧種として挙げられている。このため、今後の本種の保護対策を考えるため、県下の各河川における生息状況を4ヶ年計画で調査する。平成3年度は各河川における実施調査とアンケート調査を実施した。

● 目 的

- ① 三重県におけるネコギギ分布地の現状把握
- ② 本種の生活史と生息環境条件の解明
- ③ 以上の成果を踏まえた本種の保護対策の提示

● 調査内容

- ① 揖斐川、員弁川、朝明川、鈴鹿川、雲出川、宮川の各水系の本支流を合わせて10河川、10地点で、主に夜間、生息の確認魚体の計測等を実施。
- ② 県下の主に内水面漁業組合を対象とした各生息地の現況調査（アンケート調査）の取りまとめ

● 調査計画

揖斐川水系 ・多度川 4月 桑名郡多度町多度 員弁川水系 ・員弁川 7月 員弁郡北勢町麻生田 ・田切川 7月 員弁郡北勢町阿下喜～下平 朝明川水系 ・田光川 5月 三重郡菟野町田光 鈴鹿川水系 ・安楽川 8月 亀山市両尾町～安坂山町	雲出川水系 ・奥の小屋川 5月 一志郡美杉村八知 ・中村川 9月 一志郡嬉野町八田～矢下 ・波瀬川 9月 一志郡一志町切原、井関 宮川水系 ・一之瀬川 8月 度会郡度会町和井野、日部 ・藤川 8月 多気郡大宮町木屋
--	---

● 委託先

東海淡水生物研究会

代表 名越 誠（奈良女子大学教授）

会員 清水 義孝（自営業）

森 誠一（京都大学理学部研究員）

渡辺 勝敏（東京水産大学大学院生）

● 調査結果概要

○ 野外調査

今年度の調査で新たに生息が確認された場所は、安楽川（鈴鹿川系；亀山市）と一之瀬川（宮川水系；度会町）である。安楽川では堰堤下部の緩やかな場所で、夜間多数確認されたが、上流からの土砂の流出などによる生息環境の悪化により、生息範囲は極めて狭いようであった。一之瀬川は水量が比較的多く、自然のよく保たれた山間部の清流であるが、ネコギギの生息密度は非常に低かった。田切川（員弁川支流；北勢町）では、1990年9月の台風19号による大きな攪乱後、1991年7月に密度は比較的低くなっていると考えられたが、ネコギギの生息が確認された。

多度川（多度町）、田光川（菟野町）、員弁川（北勢町）および藤川（大宮町）では、今回の調査でネコギギは発見できなかった。

○ アンケート調査等

アンケート調査および聞き込み調査で得られた三重県下におけるネコギギの地方名

河川（水系）	地域	地方名（呼び名）
鈴鹿川（鈴鹿川）	関町	ギギ
雲出川（雲出川）	美杉村八知	キューテン、キューチン
中村川（雲出川）	嬉野町	ギウタ、ギグ、ギグタ
榑田川、蓮川（榑田川）	飯高町森、落方、波瀬等	（クロ）デンギユウ、クロギユウ、デンキ
宮川（宮川）	宮川村大杉	カンバチ
横輪川（宮川）	伊勢市横輪	ピオタ、ピオチ
一之瀬川（宮川）	度会町日部	スゴ
藤川（宮川）	大宮町木屋	ドホ、テッキリ

河川(水系)	地域	地方名(呼び名)
大内山川(宮川)	大内山村 紀勢町崎、柏野 大宮町滝原 大宮町阿曾 大台町滝広	クロガマン ドホ ネコギ、テッキリ ヤナイコ テッキリ

3 特別天然記念物カモシカ保存対策緊急調査 (国庫補助事業・事業費1,300千円)

● 目的及び調査内容

カモシカは昭和30年に、地域を定めない特別天然記念物として国指定をうけ、本州から四国、九州にかけて分布している。生息地域は15箇所あり、現在、四国、九州を除く13地域において保護地域が設定され文化庁、環境庁、林野庁の三庁合意に基づいて、将来の生息地指定に向けての保護がなされている。

本県においては、昭和58年に鈴鹿山地カモシカ保護地域が、平成元年に紀伊山地カモシカ保護地域が設定された。昭和59年度からカモシカの生息状況、生息環境等について、実態を把握するための通常調査が実施されており、今年度は両保護地域において、20名の調査員による巡視調査等を行った。

● 調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査員 藤原町……清水 実(自営)・伊藤勝義(養護老人ホーム翠明院)

北勢町……小森良一(桑名市役所)・出口幸雄(北勢町役場)

大安町……片山富男(治田小学校)・清水義孝(自営)

菰野町……伊藤武吉(日本カモシカセンター)・森 豊(日本カモシカセンター)

四日市市……加藤幸雄(桑名工業高等学校)・山脇和也(桑名高等学校)

鈴鹿市……瀬川 学(石薬師高等学校)・奥埜清道(志摩高等学校)

宮川村……中川宗夫(自営)・吉田實生(自営)

飯高町……小林平八郎(飯高東中学校)・辻本恵計(自営)

海山町……川端徳夫(速水林業株式会社)

紀伊長島町……小島弘也(紀北林業組合)

尾鷲市……山本和彦(長島高等学校)・清水善吉(上野工業高等学校)

● 事業概要

① カモシカ保護連絡会議(鈴鹿山地保護地域)

日時 8月19日

場所 県四日市庁舎

② カモシカ保護連絡会議(紀伊山地保護地域)

日時 8月21日

場所 東長島公民館

③ カモシカパトロール研修会

日時 10月23日

場所 宮川村大熊谷 紀伊山地保護地域内

講師 池田 啓(文化庁記念物課文化財調査官)

富田靖男(三重県立博物館長)

内 容 通常調査の方法について
動物の食痕について

④ パトロール結果概要

藤原町	1地点2回の定点調査、1地点4回の観察路調査。カモシカ1頭発見、糞、足跡、角研ぎ発見、密猟の痕らしき残毛。
北勢町	3地点7回の観察路調査。カモシカ・シカの足跡発見、猟師の姿多い。
大安町	1地点7回の観察路調査。シカの糞、食痕発見。
菰野町	7地点9回のライントランセクト調査・定点調査・観察路調査。成獣1頭、幼獣1頭のカモシカ発見。聞き取りの結果、10月～3月の8日間で成獣延べ9頭、幼獣2頭をロープウェーから確認。
四日市市	5地点5回のライントランセクト調査・糞・食痕・足跡・角研ぎ発見1地点1回の観察路調査。糞・食痕発見。
鈴鹿市	2地点2回のライントランセクト調査。3地点3回の定点調査。カモシカ成獣2頭発見。食痕、足跡発見。
宮川村	5地点8回の観察路調査。成獣1頭発見。死体1頭発見。
飯高町	3地点8回の定点調査。足跡、糞発見。
海山町	1地点7回の定点調査。カモシカ未発見。聞き取り調査6件。
紀伊長島町	2地点7回の定点調査。成獣1頭発見。
尾鷲市	6地点6回の定点調査。シカの群、シカ角研ぎ、糞発見。聞き取り1件。

⑤ その他

ア. 現状変更

へい死報告 8件（藤原町・亀山市・菰野町・鈴鹿市・宮川村2件・飯高町2件）
譲渡申請 2件（日本カモシカセンター）

イ. 全国カモシカ保護指導委員及び行政担当者会議

日 時 10月31日～11月1日
場 所 大分県湯布院町
参 加 者 山下善平（カモシカ保護指導委員・三重大学名誉教授）
服部久士（文化振興課主事）

4 名張藤堂家歴史資料調査（国庫、県費補助事業・名張市・3,000千円・継続）

県史跡名張藤堂家邸整備事業にともない、平成2年度から2ヶ年事業で文書類や什器類等の資料の保管状況の調査を実施した。今年度は一部調査と調査物件の基本カードと目録を作成した。

5 発掘調査

(1) 県営圃場整備地内遺跡発掘調査（国庫補助事業・31,200千円）

総事業費113,455千円のうち農家負担分について国庫補助をうける。13遺跡、25,920㎡の発掘調査を実施。上野市城之越遺跡では古墳時代の庭状遺構が検出され、上野市坂之下では伊賀国庁の可能性が高まり、松阪市ヒタキ遺跡では奈良時代後期頃の建物と瓦が多量に出土する等、注目すべき成果が多くあった。

(2) 斎宮緊急発掘調査（国庫補助事業・31,871千円・継続）

史跡齋宮跡の解明のため、5地区4,174㎡について計画調査を実施した。

- (3) 御館・柳原遺跡他緊急発掘調査（国庫、県費補助事業・明和町・3,520千円・継続）
遺跡内の宅地造成予定地1か所1,190㎡について事前発掘調査を実施した。

- (4) 城之越遺跡第1次補足調査（国庫補助事業・7,000千円）
全国的にも注目された古墳時代の庭状遺構及び遺跡の性格と遺構の広がり解明し、今後の保護協議資料を得るための発掘調査（1,300㎡）を実施した。

6 遺跡詳細分布調査（国庫、県費補助事業）

- (1) 上野市内遺跡詳細分布調査（上野市・2,000千円・継続）
上野新都市計画や森永エンゼル等の大規模開発計画の具体化に伴い、埋蔵文化財の保護を図るための詳細遺跡地図を作成した。周知の遺跡が2,100から約2,300に増加。

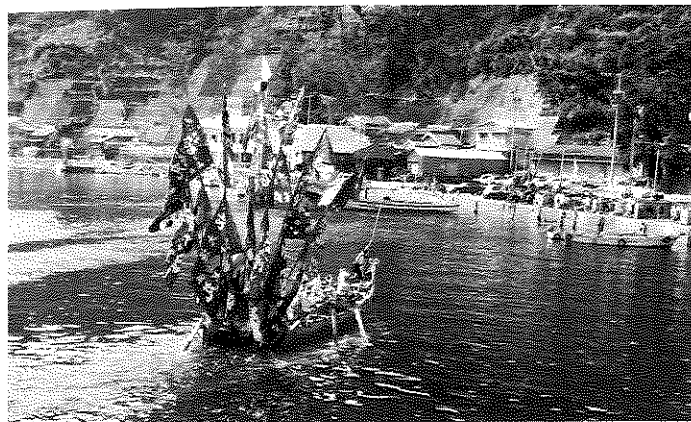
- (2) 伊賀町内遺跡詳細分布調査（伊賀町・1,500千円・継続）
霊山山頂開発計画を始めとする大規模開発計画の具体化に伴い、埋蔵文化財の保護を図るための詳細遺跡地図を作成した。周知の遺跡が220から平成3年度末で約600に増加。

- (3) 亀山市内遺跡詳細分布調査（亀山市・1,500千円・継続）
第二名神及び関連開発が増加する傾向にあり、埋蔵文化財の保護を図るため、町内の遺跡分布調査と詳細遺跡地図の作成を平成4年度まで2ヶ年計画で実施。本年度は分布調査を実施した。

7 重要遺跡確認緊急調査（国庫、県費補助事業）

- (1) 伊勢国分寺跡確認緊急調査（鈴鹿市・2,500千円・継続）
寺域と関連遺構を確認し、周辺の開発計画（レインボーヒルズプラン等）との保護調和を図るために発掘調査を実施。平成3年度は、僧寺の南面と尼寺推定地の計7ヶ所を発掘調査した。特に尼寺推定地では柱列や白鳳時代以降の瓦等を検出した。

- (2) 繩生廃寺跡確認緊急調査（朝日町・1,760千円・継続）
舍利容器（重要文化財）が出土した塔跡を中心に、伽藍配置や寺域を明らかにするための発掘調査を実施した。



ハラソ祭

II 文化財保護事業

1 文化財保存修理事業

- (1) 建造物 金剛証寺本堂保存修理（国庫、県費補助事業・金剛証寺・227,000千円・継続）
江戸時代初期の建立であるが、基盤の地割れが進み、建物の弛緩が著しいため平成元年度から5年度までの計画で解体修理に入っている。本年度は地盤整備事業と擁壁工事、礎石・柱の据え付け工事を行った。
- (2) 建造物 旧小田小学校保存修理（県費補助事業・上野市・1,000千円・継続）
明治14年の建築で県下小学校建築としては最古のものであり、昭和59年に一部を修理したが、2階天井が落下し、内部や外壁の修理が必要なため、平成2年度より修理をはじめ本年度は解体工事を行った。
- (3) 絵画 絹本着色禅源大済禅師像ほか保存修理（県費補助事業・大樹寺・6,523千円・継続）
大樹寺所有の3点の絵画について、絵具の剝落や亀裂等の破損が著しく進行しているため、平成2年度から保存修理を行っている。本年度は仏涅槃図1幅について修理を行った。
- (4) 彫刻 伊奈富神社神宝保存修理（県費補助事業・伊奈富神社・2,570千円・継続）
神宝19点について虫蝕が著しいため本年度から順次修理を行う。本年度は、平安時代後期から室町時代の木造神像13軀等について燻蒸殺虫を行い、虫蝕部に充填整形し古色仕上げを行った。
- (5) 彫刻 木造薬師如来坐像保存修理（県費補助事業・光蓮寺・3,138千円・新規）
昭和43年県指定。全体に虫食い、腐食が著しく剝落があるため修理を行った。
- (6) 史跡 斎宮跡保存修理（国庫補助事業・10,000千円・継続）
昭和63年から継続している史跡西部の整備計画の一環として、平成2年度に引き続き上園地区において、芝生広場を拡張し、四阿を設置した。
- (7) 史跡 旧崇廣堂保存修理（国庫、県費補助事業・上野市・49,955千円・継続）
江戸時代の藩校の一部であり、現存する建物の傷みが著しいため平成2年度から半解体修理を行っている。本年度は講堂・母屋の解体工事と礎石据付・据直し、古材繕い・新材加工等を行った。
- (8) 史跡 名張藤堂家邸跡保存修理（県費補助事業・名張市・25,800千円・継続）
現存する名張藤堂家邸は、老朽化が進んだため、昭和57年度から3ヶ年の第1次修理では玄関・次の間・中奥・六畳の間等の修理や瓦葺替えを実施したが、昭和63年度からの第2次修理に入り、建物部分、裏門、南門の修理を完了し、本年度は、築地堀の修理を行った。
- (9) 伝統的建造物群 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区保存修理（国庫、県費補助事業・関町・25,000千円・継続）
昭和59年12月10日に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、保存修理を継続している。本年度は修理事業5戸、修景事業1戸の6件を対象として行った。
- (10) 指定文化財管理（県費補助事業）
 - ① 建造物 大村神社宝殿屋根小修理（大村神社・650千円・継続）

昭和57年・62～平成2年度に屋根の部分修理を行ったが、本年度は棟部分の破損が著しいために修理を行った。

② 彫刻 木造阿弥陀如来坐像燻蒸殺虫（仏土寺・150千円・新規）

虫蝕が進行しており、破損の可能性も出てきたため、ガス注入による一括燻蒸殺虫を行った。

2 史跡等活用特別事業（国庫、県費補助事業）

(1) 史跡 夏見廃寺跡ふるさと歴史の広場（名張市・70,000千円・新規）

平成3年度から3ヶ年計画で、ふるさとの歴史と触れ合い、慣れ親しむ場所として活用するための遺構展示施設やガイダンス施設、歴史的建造物の復元を行う。本年度は金堂跡、塔跡の遺構整備等を行った。

3 文化財防災施設（国庫、県費補助事業）

(1) 建造物 来迎寺本堂防災施設（松阪市来迎寺・24,000千円・新規）

周辺に民家が密集しており、本堂とその周辺に消火栓・放水銃・自動火災報知器・避雷針等の防災施設を設置する。本年度は、貯水槽・放水銃4基の設置等の工事を行った。

4 無形文化財の伝承（国庫、県費補助事業）

(1) 伊勢型紙伝承（鈴鹿市・2,000千円・継続）

伊勢型紙技術保存者2名を含む5名の養成指導者の指導のもと、13名の中堅技術者を対象として伝承者の養成と資料収集に努めている。本年度は第6期4年次にあたり、古い彫刻技術の保存、伝承を図るとともに、復刻作品の染色、地紙の購入・復刻作品の展示等を行った。

5 無形民俗文化財の伝承・記録保存

(1) 御頭神事伝承（国庫、県費補助事業・御園村・1,010千円・継続）

祭のなかの踊り手の技術向上を図るため、講師の指導による後継者養成と現地公開を行う。本年度は現地公開のために御頭の修理等を行った。

(2) 植木神社祇園祭伝承（県費補助事業・植木神社祇園祭保存会・4,667千円・継続）

祇園祭における神輿等が多年に亘る使用により破損が著しいため、平成元年度から保存修理し、伝承に資する。本年度は山車1台について車輪組直し、漆塗り、箔押直し等の修理を行った。

(3) 磯部の御神田伝承記録保存（国庫、県費補助事業・磯部町・4,200千円・新規）

平成2年3月に指定を受けた。7当番地区のうち最も良好に伝承されている穴川地区について、保存伝承のために16mmカラー映画及びビデオ映像による記録作成を行った。

6 特別天然記念物カモシカ保護対策（国庫、県費補助事業）

(1) 食害対策－防護柵の設置（下記市町村・67,687千円・継続）

近年、人工造林地の幼齢木に対するカモシカ食害が増加し社会問題化している。環境庁・林野庁・文化庁の三庁合意に基づき、平成元年度に保護地域が設定された紀伊山地地域の食害が著しいため、本年度も同地域内における保護と食害対策のため防護柵の設置を行った。

宮川村	28ヶ所	17,982m	57.91ha	紀伊長島町	2ヶ所	1,700m	4.40ha
飯高町	9ヶ所	5,566m	14.67ha	海山町	9ヶ所	7,005m	20.06ha
尾鷲市	8ヶ所	5,350m	11.52ha				

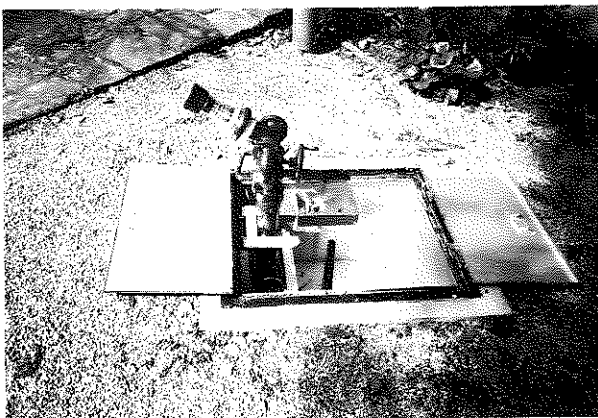
7 史跡等買い上げ（国庫、県費補助事業）

(1) 史跡 齋宮跡土地買い上げ（明和町・240,059千円・継続）

昭和59年度土地買上5.3ヘクタールの先行取得償還分74,058千円と、史跡の保護活用を図るために本年度は21件、5,456㎡の土地を166,001千円で直接買上を実施した。買上累計面積197,404㎡。

8 民間による保護事業

- 地域文化活動助成（沖永文化振興財団）
平成3年7月17日 一色町能楽保存会（伊勢市一色町） 500千円
- 芸術文化振興基金助成金（日本芸能文化振興会）
平成3年8月12日 一色町能楽保存会（伊勢市一色町） 800千円
- 文化財保存事業助成金（文化財保護振興財団）
平成3年8月26日 木造薬師如来坐像（員弁郡大安町光蓮寺） 836千円
- 地域の伝統文化助成（安田生命クオリティオブライフ文化財団）
平成3年11月25日 東玉垣唐人おどり保存会 270千円
- 郷土文化芸能団体支援事業（住友生命三重支社）
平成4年2月4日 能楽勝田流保存会（伊勢市通町） 500千円



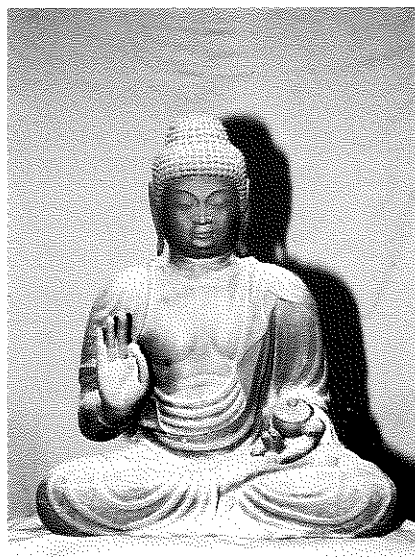
来迎寺防災施設

III 文化財管理・普及事業

1 文化財の指定等

(1) 重要文化財の指定

- ① 種 別 有形文化財 絵画
名称及び員数 紙本墨画唐獅子図 曾我蕭白筆 2幅
附 板絵著色杉戸絵 曾我蕭白筆 8面
鳳凰図2、萩兎図2、猿図2、横図2
- 所 有 者 朝田寺
所有者の住所 松阪市朝田427
官 報 告 示 第82号 平成3年6月21日
概 要 江戸後期の個性的な画家、曾我蕭白は幾度か伊勢に滞在し、主として寺院に多くの作品をのこしている。本図は大きな画面に粗い筆づかいで一對の唐獅子を力強く表現した、いかにも蕭白らしい作品である。所蔵者である朝田寺は天台宗に属しており、石橋を意図したものと思われる。
(各) 縦 224.9cm 横 246.0cm
(附) (各) 縦 169.3cm 横92.3cm
(江戸時代)



木造薬師如来坐像

- ② 種 別 有形文化財 彫刻
名称及び員数 木造薬師如来坐像 1軀
所 有 者 西盛寺
所有者の住所 上野市三田1574
官 報 告 示 第82号 平成3年6月21日
概 要 桧材を用い、両手先と左前膊、両足部にのみ別材を寄せる一木彫像で、内刳りも施さない肩の張った体軀には厚みがあるが、肉取りや量感表現はむしろ控えめで、総体に穏やかで安定した趣を示す。十世紀中頃の製作と考えられ、この時期の遺例の中において目鼻立や衣文表現の整った美作として注目される。像高 59.6cm (平安時代)



木造男神坐像

- ③ 種 別 有形文化財 彫刻
名称及び員数 木造男神坐像 1軀
所 有 者 伊奈富神社
所有者の住所 鈴鹿市稻生2-24-20

官 報 告 示
概 要

第82号 平成3年6月21日
樟の一木造りで両膝頭のみ別材を当て、素地に彩色を施し、衣文の峰に切金をおく。冠や衣部を部分的に乾漆で塑形する古式の技法を用いており、充実した量感や鑄立った衣文の表現は平安初期一木彫像に通じる。製作時期は九世紀後半と推定され、忿怒の形相を示す神像の現存最古例としてその存在意義は大きい。

像高 52.7cm (平安時代)

④ 種 別
名称及び員数
所 有 者
所有者の住所
官 報 告 示
概 要

有形文化財 彫刻
木造十一面観音立像 1 軀

白山町
一志郡白山町

第82号 平成3年6月21日

両手先を除く全容を櫃の一枚材から彫り出した檀像様の十一面観音像である。つよい肉取りの面貌をはじめ、条帛を胸高にとった量感あふれる体軀、右の膝をゆるめながら踵を大きく浮かせた動態表現には甚だ特色がある。のびのびとした作風に大像の風格が感じられる平安初期の遺品として注目される。像高 47.6cm (平安時代)



木造十一面観音立像

(2) 三重県指定有形文化財の指定

① 種 別
名称及び員数
所 有 者
所有者の住所
公 報 告 示
概 要

有形文化財 絵画
絹本着色星曼荼羅図 1 幅

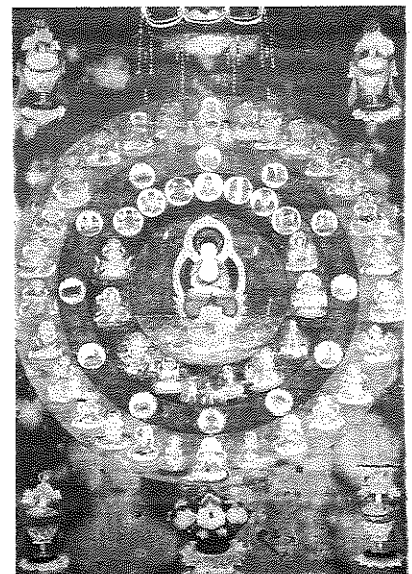
西蓮寺
上野市長田1931

第4号 平成4年2月21日

星曼荼羅は、古代インドのバラモン教の天文説を基に、息災、増益、延命を願って考察された曼荼羅であり、平安時代後期から製作された。

中心に釈迦金輪像を表し、第二重上部に北斗七星、下部に九曜星、第三重は十二宮、第四重は二十八号を巡らす。

表現描写は、諸色や金截箔、截金及び銀截箔を用い、濃い色彩で仕上げる等、本格的な作画法がうかがわれる。特に諸尊が略筆



絹本着色星曼荼羅図

の童子形で表現されている点が注目される。おおむね当初の状態を良く保存している。縦 62.0cm 横 42.5cm

(平安時代末～鎌倉時代初)

- ② 種 別
名称及び員数
所 有 者
所有者の住所
広 報 告 示
概 要

有形文化財 彫刻

一色町の能面 41面

一色町能楽保存会

伊勢市一色町

第4号 平成4年2月21日

現在の一色能は喜多流だが、いわゆる伊勢三座(和谷、勝田、青芋)のひとつの和谷流で能楽が発生した室町時代以来の伝統を持っている。

能面は悪尉等の鬼神系や、般若等の霊系、小面等の女系、童子等の男系等と多様である。翁系2面 鬼系8面 尉系3面 男系10面 女系9面 霊系9面

- ③ 種 別
名称及び員数
所 有 者
所有者の住所
広 報 告 示
概 要

有形文化財 彫刻

木造阿弥陀三尊像 三軀

極楽寺

名賀郡青山町老川1081

第4号 平成4年2月21日

極楽寺の秘仏本尊(銅製善光寺式阿弥陀三尊か)の前に立てる代理の仏像で、いわゆる「お前立ち」として伝来した、やはり善光寺式の阿弥陀三尊像である。善光寺式阿弥陀三尊像とは、長野県善光寺の布教活動と共に流布した、根本本尊の模倣であり、東日本を中心に分布する仏像である。

通例の善光寺式阿弥陀三尊像は、銅造であるが、これは寄木造彫眼の像で、粉溜の表面に細緻な切金文様を施している。光背および各尊の蓮華座も当初のものを伝える。

中尊像高 48.9cm 連座高 13.8cm

光背高 92.0cm

(鎌倉時代)

- ④ 種 別
名称及び員数
所 有 者
所有者の住所
広 報 告 示

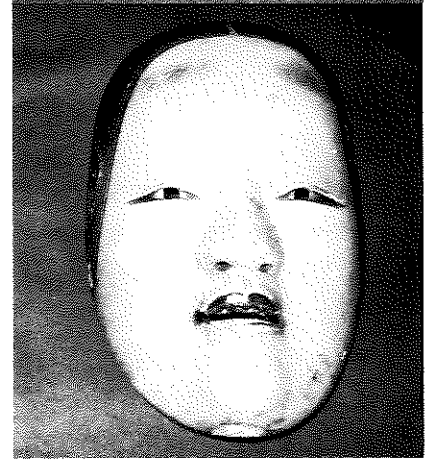
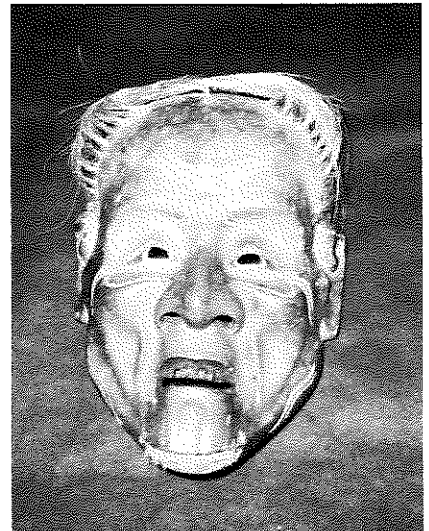
有形文化財 工芸品

鱈口 1口

珊瑚寺

多気郡多気町五桂630

第4号 平成4年2月21日

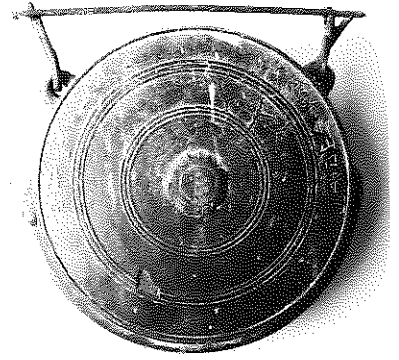


一色町の能面



木造阿弥陀三尊像

概要 罽口とは、寺社の堂前に吊るして参拝者が罽を振って打ち鳴らすものであり、下辺の大きく開いた形から名付けられたものである。刻名によれば、至徳2（1385）年に藤原師光によって鑄造され、伊賀国の仏土寺に奉獻されたという。裏面には、佐奈郷山口寺弘治3（1557）年の銘文があり、この間の経緯は不明である。南北朝期の逸品であり、保存状態は良好である。



罽 口

目間径40.0cm 銘帯縁径37.0cm 厚17.0cm

⑤ 種別
名称及び員数
所有者
所有者の住所
広報告示
概要

有形文化財 古文書

種生神社棟札 8枚

種生神社

名賀郡青山町1278

第4号 平成4年2月21日

種生神社（旧鹿島神社）は、合祀を重ねた結果、五社から計8枚の棟札が、集められている。これらは室町時代初期から江戸時代初期に属し、保存状態は良好。

神社の造営、修復の日時のみでなく、寺院を含めた宗教生活の実情、大工、工匠の出身地、経費の細目が記されており、中世村落の資料として価値が高い。昭和20年8月4日、国の重要美術品に認定されていた。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1 応永26年銘のもの | 2 長享2年銘のもの | 3 永正2年銘のもの |
| 4 大永元年銘のもの | 5 享禄2年銘のもの | 6 天正2年銘のもの |
| 7 元和3年銘のもの | 8 元和6年銘のもの | |

⑥ 種別
名称及び員数
所有者
所有者の住所
広報告示
概要

有形文化財 考古資料

銅経筒 1口

附 法華経残欠 一括
木札 1枚

射手神社

上野市長田2691

第4号 平成4年2月21日

文政5（1822）年、柴原山から発掘されたものである。中には法華経が納められてあったもので、底に10個の痕跡があるが、現在は8巻程の断巻が遺存する。経文は1巻毎に筆者が異なるが、巻末の年号は全て永暦元（1160）年である。この経筒も、同時代もしくはそれ以前の作と推定される。昭和13年7月10日、国の重要美術品に認定。

（経筒）径 14.9cm 高 27.9cm

⑦ 種別
名称及び員数
所有者
所有者の住所
公報告示

有形文化財 歴史資料

松浦武二郎関係資料 305点

松浦 清

一志郡三雲町小野江321

第4号 平成4年2月21日

概要 幕末の探検家であり、明治新政府の役人となり、北海道の名付け親となった松浦武四郎(1818~1888)の作成した地図や書籍、書簡等305点で、生家のある三雲町の松浦家に保管されている。詳細な樺太や北海道の地図、探検の記録、大村益次郎等との広い交友を示す書簡類等、武四郎の業績を知るうえで極めて高い価値を持つ。

書籍類 84点 書簡 129点 地図類 35点 その他 57点

(3) 三重県指定民俗文財の指定

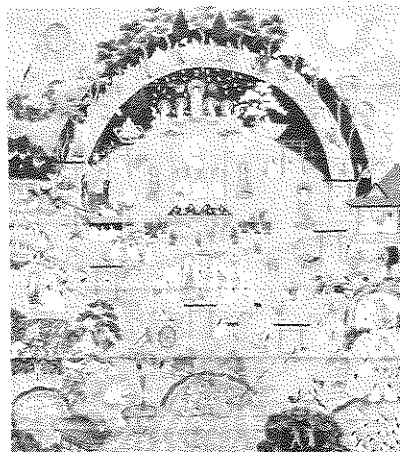
① 種別 有形民俗文化財
 名称及び員数 紙本著色熊野観心十界曼荼羅
 紙本著色那智参詣曼荼羅 二幅
 所有者 南河路自治会長
 所有者の住所 津市大字南河路438 大円寺
 公報告示 第30号 平成3年10月23日
 概要 共に中世から近世にかけて、熊野比丘尼が

「絵解き」に用いた法具である。熊野比丘尼は女性を対象に曼荼羅を用いて恋愛、結婚、家庭生活を舞台とした人生流転を絵解きした。熊野観心十界曼荼羅は中央上部の人生階段図を描く大きな半円弧(虹伏)の架け橋と、中央下寄りの円相の中の「心」字が特徴で、下部には六道輪廻の凄惨な世界を描く。全国で30余例が知られるが、県内には類例が3例確認されている。

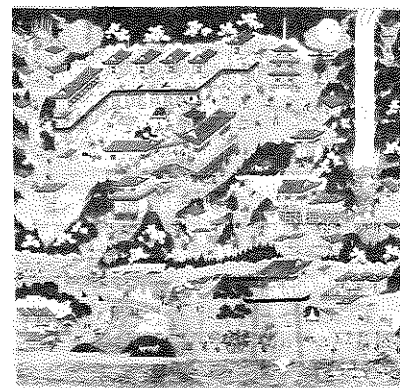
縦 147.0cm 横 129.5cm

那智参詣曼荼羅は、熊野観心十界曼荼羅と対をなすものである。絵は稚拙で奈良絵風であるが、保存状態も良く、当時の庶民信仰の様子をうかがう上で、民俗資料としての価値は高い。製作年代は中世末から近世始め。縦 155.0cm 横 161.0cm

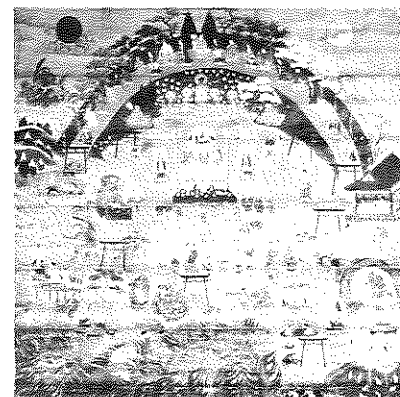
② 種別 有形民俗文化財
 名称及び員数 紙本著色熊野観心十界曼荼羅 一幅
 所有者 浄土寺
 所有者の住所 度会郡小侯町753
 公報告示 第30号 平成3年10月23日
 概要 中世から近世にかけて、熊野比丘尼が「絵解き」に用いた法具である。熊野比丘尼は女性を対象に曼荼羅を用いて恋愛、結婚、家庭生活を舞台とした人生流転を絵解きした。中央上部の人生階段図を描く大きな半円弧(虹状)の架け橋と、中央下寄りの円相の中



紙本著色熊野観心十界曼荼羅



紙本著色那智参詣曼荼羅



紙本著色熊野観心十界曼荼羅

の「心」字が特徴で、下部には六道輪廻の凄惨な世界を描く。全国で30余例が知られるが、県内には類例が3例確認されている。

軸装になっているが、折り畳んだ痕があり、携帯されて持ち運ばれていたことがわかる。製作年代は中世末、保存状態はほぼ良好で、裏面に文化12（1815）年に修理したことを墨書で大書している。 縦 143.0cm 133.7cm

(4) 三重県指定記念物の指定

- ① 種 別 記念物 史跡
名称及び員数 城之越遺跡
所在地 上野市比土字城之越
所有者 上野南部第三土地改良区
管理者 上野市
公 報 告 示 第4号 平成4年2月21日
概 要 古墳時代前期から鎌倉時代に及ぶ複合遺跡。平成3年度の発掘調査では、竪穴住居12棟、掘立柱建物19棟、奈良時代の竪穴住居4棟、掘立柱建物2棟、中世の掘立柱建物1棟、時期不明の竪穴住居6棟、掘立柱建物6棟等が検出された。
特に、調査区の北西側で検出された貼石や立石を持つ古墳時代の大溝の形状は、6世紀以降に成立する「苑池」遺溝に通じる祭祀的性格をもつものとして重要である。
指定面積 11,962.311㎡

(5) 三重県指定無形文化財の指定および保持団体の認定

- ① 種 類 無形文化財 工芸技術
名称及び員数 伊勢型紙 1件
保持団体 伊勢型紙技術保存会
公 報 告 示 第4号 平成4年2月21日
概 要 平成3年11月に発足した伊勢型紙技術保存会は、昭和38年から実施している重要無形文化財伊勢型紙伝承者養成事業の研修を終了し、高度な技量と経験を有する会員で構成されている。重要無形文化財技術保持者が講師となって、これまで約80名が伝承者として高い技術を習得していることは高く評価される。技術保持者が6名から1名に減少した今日、伝統技術を保持する団体としての伊勢型紙技術保存会の存在意義は大きい。

(6) 三重県指定記念物の名称変更

- ① 種 類 記念物 天然記念物
名称及び員数 引作の大クス 1本
所在地 南牟婁郡御浜町大字引作507
引作神社境内
管理者 御浜町
公 報 告 示 第30号 平成3年10月23日
概 要 昭和11年22日の指定当日は、引作神社が阿田和神社の管理下にあったので、「阿田和の

大クス」として指定された。しかし、実際の管理は地元の引作地区が行っており、名称を変更して引作地区のシンボルとして保護する気運がたかまっている。

(7) 市町村指定の文化財

市町村名	種別	名称	員数	時代	所在地	所有者管理者	指定月日
桑名市	有 建	旧諸戸清六邸 附 庭園	9棟	大正	鷹場663-5 他	桑名市	4.3.16
多度町	記 史	宝曆治水史跡		江戸	香取135-1	常音寺	3.4.1
四日市市	有 彫	如意輪観音坐像	1軀		六呂見1068	観音寺	3.9.26
	有 彫	釈迦如来坐像	1軀		六名町336	光輪寺	3.6.24
	民 無	富田の鯨船行事	4組	江戸	東富田町・ 富田一丁目	富田鯨船保存会 連合会	4.2.26
鈴鹿市	民 無	長太鯨船行事	1件	明治	北長太町289	長太鯨船保存会	4.3.17
	有 古	大黒屋光太夫等の掃郷文書	23点	江戸	若松中1-4-1	大黒屋光太夫顕彰会	4.3.17
	有 考	三角縁神獸鏡	1面	古墳	秋永町411	真昌寺	4.3.17
	有 建	悟真寺本堂	1棟	江戸	白子本町2-27	悟真寺	4.3.17
関 町	民 有	山車	4基	江戸	中町・木崎町	中町・木崎町自治会	3.7.33
	民 無	かんこ踊り	5件	江戸	加太字北在家・中 在家・板屋・向井・ 市場	北在家・中在家・ 板屋・向井・市場 自治会	3.7.22
	民 無	坂下獅子舞	1件	江戸	坂下	獅子舞保存会	3.7.22
津 市	民 有	木造塗漆獅子頭 附 麻製包布（万治三 年のもの）一枚 麻製包布（万治四 年のもの）一枚 格納箱一個	1頭	江戸	大里窪田町1501 石積神社	窪田町自治会	3.12.5
白山町	有 工	鱈口	1口	桃山	川口	上野区	4.2.24
	有 歴	木造神社扉	2枚	鎌倉	南家城	家城神社	4.2.24
	有 絵	絹本着色仏涅槃図	1幅	室町	三ヶ野	弘安寺	4.2.25
飯高町	有 彫	黒瀧十一面観音立像	1軀	鎌倉	森1628	黒瀧観音堂	3.9.27
	有 彫	聖観音坐像	1軀	室町	森3-50	加福院	3.9.27
	有 古	井伊直弼・長野主膳 多紀関係文書	39点	江戸	宮前1414	堀内謹一	3.9.27
	記 史	礫石及び倭姫命の歌碑	2基	江戸	赤桶2004	赤桶区	3.9.27
	記 史	五輪塔(伝蘇我入鹿首塚)	1基		舟戸字五輪241	舟戸区	3.9.27
紀勢町	記 天	枝垂れ桜			紀勢町260	紀勢町	3.9.6
	記 天	ウバメガシ			錦字向井浜	紀勢町	3.9.6
	有 考	三角縁神獸鏡	1面	古墳	錦 錦小学校資料室	紀勢町	3.9.6

市町村名	種別	名称	員数	時代	所在地	所有者管理者	指定月日
阿山町	有書	木津家文書	2巻	室町	玉滝	木津芳子	3.6.14
	有書	佐々木六角承禎書状	5通	室町	下友田	川合啓介	3.6.14
	有工	佐々木義治書状	1通	室町	下友田	川合啓介	3.6.14
	有工	梵鐘	1口	江戸	馬場	陽夫多神社	3.6.14
伊賀町	有彫	不動明王立像	1軀	平安	柘植町7373	萬寿寺	4.2.20
紀伊長島町	民無	親子杯	1個	江戸	本町	湊章男	4.3.1

(8) 市町村指定解除の文化財

市町村名	種別	名称	所在地	所有者管理者	解除理由	指定月日	解除月日
尾鷲市	記天	エドヒガシ	南浦	秦益久	台風倒木により枯死	S47.7.25	3.12.26

2 文化財管理

(1) 文化財パトロール

ア 事業の概要

県下における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために三重県文化財調査員を任命し巡視活動を行う。

イ 巡視報告

(天然記念物・名勝)

名称	所在地	指定月日	状況
入道岳イヌツゲ及びアセビ群落	鈴鹿市	3.5.4	説明板なし、イヌツゲに枯死目立つ
美鹿の神明スギ	多度町	3.6.2	説明板なし、一部枯死あり
佐波留島	尾鷲市	3.6.9	異常なし
斎宮のハナショウブ群落(国)	明和町	3.6.16	生育不良、株数激減
栃ヶ池湿地植物群落	多気町	3.6.16	生育不良、株数激減
東阿倉川アイナシ自生地(国)	四日市市	3.6.16	枝の一部に枯死あり
西阿倉川アイナシ自生地(国)	四日市市	3.6.16	ほぼ異常なし
御池沼沢植物群落(国)	四日市市	3.6.16	異常なし
九木神社樹叢(国)	尾鷲市	3.7.12	根上がり、折損木あり
飛鳥神社の樹叢	尾鷲市	3.7.12	一部枯死あり、植栽を確認
柳谷の貝石山	美里村	3.7.21	異常なし
西沢のハナショウブ群落	伊賀町	3.7.21	異常なし(移植作業済)
フウラン群生地	紀伊長島町	3.7.27	盗採あり、増殖必要
長島神社社叢	紀伊長島町	3.7.27	異常なし
豊浦神社社叢	紀伊長島町	3.7.27	異常なし
篠立の風穴	藤原町	3.7.28	異常なし
川島町のシデコブシ群落	四日市市	3.8.4	異常なし
引作の大クス	御浜町	3.8.4	異常なし
造礁サンゴ群生地域	紀伊長島町	3.8.10	丸山、鈴島周辺海域へ行くも不明

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
石薬師の蒲ザクラ	鈴 鹿 市	3. 8. 11	異常なし
川俣神社スダジイ	鈴 鹿 市	3. 8. 11	ほぼ異常なし
長太の大クス	鈴 鹿 市	3. 8. 11	太い枝に枯死多い
白子不断ザクラ (国)	鈴 鹿 市	3. 8. 11	異常なし
金生水沼沢植物群落 (国)	鈴 鹿 市	3. 8. 14	異常なし
アイナシ	鈴 鹿 市	3. 8. 18	異常なし、数年前より実の数減る
西の城戸のヒイラギ	鈴 鹿 市	3. 8. 18	異常なし
美鹿の神明スギ	多 度 町	3. 8. 24	説明板なし、一部枯死あり
鈴鹿山の鏡岩	関 町	3. 8. 25	異常なし
宗英寺のイチョウ	亀 山 市	3. 8. 25	説明板なし、異常なし
飛鳥神社の樹叢	尾 鷲 市	3. 8. 26	一部枯死あり、植栽を確認
九木神社樹叢 (国)	尾 鷲 市	3. 8. 26	植栽を確認
高倉神社のシブナシガヤ (国)	上 野 市	3. 9. 1	樹皮・枝の枯死あり
果号寺のシブナシガヤ (国)	上 野 市	3. 9. 1	枝に一部枯損部あり
花垣のヤエザクラ	上 野 市	3. 9. 1	損部あるも処置済
アヤマスズ自生地	上 野 市	3. 9. 1	生育やや不良
金生水沼沢植物群落 (国)	鈴 鹿 市	3. 9. 8	異常なし
奥郷の寒椿「獅子頭」	菰 野 町	3. 9. 15	異常なし
伊賀町のジндаイドジョウ	伊 賀 町	3. 9. 15	最近は全く確認できず
西村広林宅跡のフウ樹	多 気 町	3. 9. 15	異常なし
東阿倉川アイナシ自生地 (国)	四 日 市 市	3. 9. 16	枝の一部に枯死あり
西阿倉川アイナシ自生地 (国)	四 日 市 市	3. 9. 16	枝の一部に枯死あり
御池沼沢植物群落 (国)	四 日 市 市	3. 9. 16	異常なし
大杉谷の大スギ	宮 川 村	3. 9. 17	異常なし
造礁サンゴ群生地域	紀伊長島町	3. 9. 19	赤野周辺海域確認できず
水屋の大クス	飯 高 町	3. 9. 22	異常なし
不動院ムカデラン群落 (国)	松 阪 市	3. 9. 22	異常なし
市木のイブキ	御 浜 町	3. 9. 22	前年度の台風の影響で枯死が目立つ
野登山のブナ林	亀 山 町	3. 9. 22	説明板なし、異常なし
金生水沼沢植物群落 (国)	鈴 鹿 市	3. 9. 28	異常なし
フウラン群生地	紀伊長島町	3. 9. 30	説明板なし
島勝神社樹叢	海 山 町	3. 10. 1	異常なし
多度のイヌナシ自生地	多 度 町	3. 10. 6	説明板なし、風当たり・陽当たり不良
小岐須の屏風岩	鈴 鹿 市	3. 10. 6	説明板なし、異常なし
柳谷の貝石山	美 里 村	3. 10. 13	説明板なし、異常なし
棕本の大ムク (国)	芸 濃 町	3. 10. 20	異常なし
長徳寺の竜王ザクラ	芸 濃 町	3. 10. 20	異常なし
鎌ヶ岳ブナ原始林	菰 野 町	3. 10. 26	説明板なし、ブナの巨木の枯死目立つ
国津神社のケヤキ	美 杉 村	3. 10. 27	異常なし
金生水沼沢植物群落 (国)	鈴 鹿 市	3. 11. 3	異常なし
柳谷の貝石山	美 里 村	3. 11. 4	異常なし
矢頭の大スギ	一 志 町	3. 11. 4	異常なし

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
東平寺のシイノキ樹叢	美 杉 村	3. 11. 7	異常なし
大杉谷の大スギ	宮 川 村	3. 11. 23	異常なし
島勝神社樹叢	海 山 町	3. 11. 23	説明板なし、樹量減少
島勝の海食洞門	海 山 町	3. 11. 23	説明板なし、異常なし
榑原の貝石山	久 居 市	3. 11. 23	異常なし
坂本のシナノキ	藤 原 町	3. 11. 24	枝の一部に枯死あり
真福院のケヤキ	美 杉 村	3. 11. 24	説明板なし、異常なし
フウラン群生地	紀伊長島町	3. 11. 24	盗採あり
豊浦神社社叢	紀伊長島町	3. 11. 24	異常なし
御池沼沢植物群落 (国)	四 日 市 市	3. 12. 1	異常なし
川島町のシデコブシ群落	四 日 市 市	3. 12. 1	異常なし
東阿倉川アイナシ自生地 (国)	四 日 市 市	3. 12. 1	枝の一部に枯死あり
西阿倉川アイナシ自生地 (国)	四 日 市 市	3. 12. 1	枝の一部に枯死あり
道方の浮島	南 島 町	3. 12. 15	異常なし、案内板損傷
篠立の風穴	藤 原 町	3. 12. 22	異常なし
豊浦神社社叢	紀伊長島町	3. 12. 29	説明板なし、異常なし
鈴島暖地性植物群落	紀伊長島町	3. 12. 29	説明板なし、異常なし
不動院ムカデラン群落 (国)	松 阪 市	4. 1. 3	異常なし、やや雑草増える
斎宮のハナショウブ群落 (国)	明 和 町	4. 1. 5	乾田化進む、雑草の除去が必要
西村広林宅跡のフウ樹	多 気 町	4. 1. 5	異常なし
栃ヶ池湿地植物群落	多 気 町	4. 1. 5	クシナシの生育不良
九木神社樹叢 (国)	尾 鷲 市	4. 1. 15	根上がり、折損木あり
長島神社社叢	紀伊長島町	4. 1. 26	説明板なし、異常なし
飛鳥神社社叢	尾 鷲 市	4. 2. 2	異常なし
九木神社樹叢 (国)	尾 鷲 市	4. 2. 6	隣接地で協議済の工事始まる
水屋の大クス	飯 高 町	4. 2. 11	異常なし、境界柵の拡大が望ましい

(史 跡)

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
久保古墳	松 阪 市	3. 7. 1	雑草繁茂
長野氏城跡 (国)	美 里 村	3. 7. 21	異常なし
伊勢寺跡	松 阪 市	3. 8. 4	異常なし
春日神社境内の石燈籠	名 張 市	3. 8. 23	火袋要修理
美旗古墳群 (国)	名 張 市	3. 8. 25	異常なし
松ヶ島城跡	松 阪 市	3. 9. 1	異常なし
廃補陀落寺町石 (国)	上 野 市	3. 9. 1	異常なし、碑面荒れ
霧山城跡 (国)	美 杉 村	3. 9. 16	異常なし
長野氏城跡 (国)	美 里 村	3. 9. 22	異常なし
二木島の一里塚	熊 野 市	3. 10. 20	前年度の台風の影響で荒れが目立つ
車塚	上 野 市	3. 11. 3	異常なし
神戸銅鐸発掘地	津 市	3. 11. 3	説明板なし、異常なし

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
美旗古墳群 (国)	名 張 市	3. 11. 10	異常なし
千種城址	菰 野 町	3. 11. 23	異常なし
旧麗沢舎	伊 賀 町	3. 11. 24	異常なし
霊山山頂遺跡	伊 賀 町	3. 11. 24	異常なし
福地城跡	伊 賀 町	3. 11. 24	指定地周辺部の一部が開発されている
御墓山古墳 (国)	上 野 市	3. 12. 1	異常なし
伊賀国分寺跡 (国)	上 野 市	3. 12. 1	異常なし
千種城址	菰 野 町	3. 12. 1	異常なし
鹿伏兔城址	関 町	3. 12. 7	異常なし
白鳥塚古墳	鈴 鹿 市	3. 12. 14	異常なし
夏見廃寺跡 (国)	名 張 市	3. 12. 29	異常なし
美旗古墳群 (国)	名 張 市	3. 12. 15	異常なし
杉谷遺跡	菰 野 町	4. 1. 4	異常なし
寺音寺古墳	大山田村	4. 1. 5	異常なし
鳳凰寺址	大山田村	4. 1. 5	異常なし
美旗古墳群 (国)	名 張 市	4. 1. 5	異常なし
福地城跡	伊 賀 町	4. 1. 26	指定地周辺部の一部が開発されている
夏見廃寺跡 (国)	名 張 市	4. 2. 2	異常なし
伊賀国分寺跡 (国)	上 野 市	4. 2. 2	異常なし
長楽山廃寺跡 (国)	上 野 市	4. 2. 2	異常なし
大河内城址	松 阪 市	4. 2. 2	異常なし
御墓山古墳 (国)	上 野 市	4. 2. 11	異常なし
向山古墳 (国)	松 阪 市	4. 2. 21	異常なし、周辺部に開発進む
猪田神社古墳附古井	上 野 市	4. 2. 26	異常なし
廃補陀落寺町石 (国)	上 野 市	4. 2. 23	異常なし
赤木城跡・田平子峠刑場跡 (国)	紀 和 町	4. 2. 29	異常なし

(美術工芸・考古資料・文書)

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
須賀利浦方文書	尾 鷲 市	3. 6. 16	異常なし
岩根の鷹崖仏	上 野 市	3. 9. 8	異常なし
石造板碑	上 野 市	3. 9. 8	碑面荒れ
木造薬師如来坐像 (国)	二 見 町	3. 9. 22	異常なし
木造千手観音坐像 (国)	二 見 町	3. 9. 22	異常なし
木造阿弥陀如来坐像	二 見 町	3. 9. 22	異常なし
木造薬師如来坐像	海 山 町	3. 10. 1	異常なし
木造十一面観音立像 (国)	度 会 町	3. 10. 20	異常なし
木造阿弥陀如来坐像	大 宮 町	3. 11. 17	異常なし
木造薬師如来坐像	海 山 町	3. 11. 23	異常なし
石造燈籠 (国)	名 張 市	3. 12. 24	異常なし
石造燈籠 (国)	名 張 市	3. 12. 28	異常なし

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
石造燈籠 (国)	名 張 市	3. 12. 29	異常なし
木造不動明王立像 (国)	名 張 市	3. 12. 29	異常なし
木造俊乘上人坐像 (国)	大 山 田 村	4. 1. 5	異常なし
木造僧形坐像 (国)	大 山 田 村	4. 1. 5	異常なし
板彫五輪塔 (国)	大 山 田 村	4. 1. 5	異常なし
木造如来坐像附石造基壇 (国)	大 山 田 村	4. 1. 5	異常なし
黒漆厨子 (国)	名 張 市	4. 1. 11	異常なし
石造燈籠 (国)	名 張 市	4. 1. 15	異常なし
岩根の磨崖仏	上 野 市	4. 2. 16	異常なし
石造燈籠 (国)	名 張 市	4. 2. 16	異常なし

(建造物)

名 称	所在地	調査日	点 検 結 果
専修寺御影堂 (国)	津 市	3. 7. 28	異常なし
専修寺如来堂 (国)	津 市	3. 7. 28	異常なし
専修寺山門	津 市	3. 7. 28	異常なし
専修寺唐門	津 市	3. 7. 28	異常なし
慈智院本堂	津 市	3. 7. 28	異常なし
石造宝篋印塔	津 市	3. 7. 28	異常なし
高倉神社本殿境内社附棟札 (国)	上 野 市	3. 9. 1	組物くるい生じるも異常なし
高倉神社本殿境内社附棟札 (国)	上 野 市	3. 9. 1	異常なし
射手神社十三塔 (国)	上 野 市	3. 9. 8	梵字面荒れるが、異常なし
木造閻魔堂	上 野 市	3. 9. 8	修理の必要あり
愛宕神社本殿	上 野 市	3. 12. 1	異常なし
石造宝塔	阿 山 町	3. 12. 1	やや風化進む
射手神社十三塔 (国)	上 野 市	4. 2. 16	異常なし
猪田神社本殿附棟札 (国)	上 野 市	4. 2. 26	異常なし
猪田神社本殿附棟札 (国)	上 野 市	4. 2. 26	異常なし
町井家住宅 (国)	上 野 市	4. 3. 1	異常なし

ウ 三重県文化財調査員

A 北勢教育事務所管内

伊東春男 (自営) 片岡雅章 (川越高等学校) 川添 護 (桑名高等学校)
 丹羽 徹 (四日市西高等学校) 大場範久 (神戸高等学校) 桐生定己 (四日市市立教育研究所)
 鎌田雅生 (菰野中学校) 荒木昌俊 (笹川東小学校) 清水弘之 (東員第二中学校)
 安川富春 (自営)

B 中勢教育事務所管内

河合良成 (自営) 高森英純 (豊田小学校) 下村純也 (三雲中学校)
 小林和彦 (雲林院小学校) 本堂弘之 (村主小学校) 津村善博 (久居中学校)
 宮崎洋史 (北畠神社)

- C 松阪教育事務所管内
 榎本義謙（朝田寺） 世古且守（大河内小学校） 岡本好雅（中部中学校）
 小浜 学（松阪第二小学校） 筒井利久（飯高西中学校） 奥谷義一（自営）
 三井博之（自営） 奥 義次（松阪高校学校）
- D 南勢志摩教育事務所管内
 中西正典（玉城中学校） 大西素行（外城田小学校） 東 浩成（志摩高等学校）
 御村精治（度会中学校） 村上喜雄（国崎小学校） 中世古一芳（宿田曾小学校）
 竹内正弘（志島小学校） 川添昭博（東海中学校） 山崎富三郎（自営）
 東谷利和（小俣中学校）
- E 上野教育事務所管内
 市田進一（会社員） 福井健二（上野本町通郵便局） 中山 暁（崇広中学校）
 岡本武和（島ヶ原小学校） 寺岡光三（会社員） 森前 稔（名張中学校）
 奥西 勲（比奈知小学校） 松鹿昭二（名張西高等学校） 竹内英雄（比奈知小学校）
 谷戸 実（一ノ井教育集会所）
- F 尾鷲教育事務所管内
 田崎通雅（尾鷲郷土室） 東 成志（三船中学校）
- G 熊野教育事務所
 福村直人（阿田和小学校） 田中安弘（御浜小学校） 古部 均（尾呂志小学校）

(2) 文化財保護連絡会議

ア 目 的

県下における指定文化財および埋蔵文化財の保護行政をより充実させるため、文化財調査員および市町村等の担当者により協議し、文化財保護の充実を図る。

イ 日時・場所

教育事務所	開 催 日 時	場 所
北 勢	5月16日（木）15：30～17：00	県四日市庁舎5階第10会議室
中 勢	5月21日（火）15：30～17：00	県津庁舎6階第65会議室
松 阪	5月17日（金）15：30～17：00	県松阪庁舎2階第21会議室
南勢志摩	5月20日（月）15：30～17：00	県伊勢庁舎3階第4会議室
上 野	6月3日（月）15：30～17：00	上野教育事務所大会議室
尾鷲・熊野	6月4日（火）15：30～17：00	県尾鷲庁舎3階第3会議室

ウ 内 容

指定文化財の保護の概要

- 文化財パトロールの実施について
- 開発にかかる埋蔵文化財の保護について
- その他

- エ 出席者 三重県文化財調査員
市町村教育委員会文化財担当者
各教育事務所文化財担当者
三重県埋蔵文化財センター担当者
文化振興課担当者

(3) 国指定文化財にかかる現状変更等

ア 建造物

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
金剛証寺本堂	金剛證寺	解体修理	3.6.13	3.9.2		国庫補助事業

イ 史 跡

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
夏見廃寺跡	名張市長	整備に伴う発掘調査	3.4.10	3.6.18		
上野城跡	上野市長	道路側溝	3.5.13	3.6.6		
上野城跡	上野市長	擬木階段設置	3.5.13	3.5.27	3.10.7	権限委任
上野城跡	上野市長	倉庫設置	3.5.27	3.6.18	3.10.7	
本居宣長旧宅	鈴屋遺蹟保存会長	庇・便所戸板板塀の修理	3.5.30	3.6.28	3.11.7	三重大学菅原洋一助教授の現地指導
夏見廃寺跡	名張市長	史跡整備	3.9.30	3.11.8		国庫補助事業
伊勢国分寺跡	桐生悦夫	ビニールハウス設置	4.2.10			
伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	農道舗装	2.4.13	4.2.13		権限委任

ウ 名勝及び史跡

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
北畠氏館跡庭園	北畠神社	生垣、玉垣の設置	3.12.22			事前発掘調査実施

エ 名 勝

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
赤日の溪谷	名張市長	休憩小屋建替	4.3.2			木造同規模

オ 天然記念物

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
御池沼沢植物群落	四日市市教育長	保存対策調査	2.6.2	2.6.26	3.4.17	武田明正氏指導

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
オオサンショウウオ	三重県立博物館長	保護・飼育	3.6.5	3.7.25		
オオサンショウウオ	日本カモシカセンター所長	保護・飼育	3.7.15	3.8.27		
大杉谷	尾鷲営林所長	標識板の設置	3.7.16 (協議)	3.10.30 (合意)		木製1基
ネコギギ	水産庁養殖研究所長	飼育・研究	3.8.6 (協議)	3.11.20 (合意)		岐阜県内から6匹譲渡
九木神社樹叢	三重県知事	治山事業	3.11.20	3.12.17		法面改修工事
オオサンショウウオ	三重県知事	赤目川河川改修	3.12.9 (照会)	3.12.19 (回答)		県立博物館長等の指導
オオサンショウウオ	日本アネック株式会社	生息分布調査	4.3.6			ゴルフ場、松月茂明氏指導

(4) 県指定文化財にかかる現状変更等

ア 建 造 物

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
旧小田小学校	上野市長	復元保存修理	4.1.22	4.1.22		県費補助事業

イ 史 跡

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
松ヶ島城跡	松阪市教育長	整備	2.10.31	2.11.22	3.4.16	
神戸の見付	鈴鹿市教育長	石塁の復旧	3.3.20	3.3.22	4.4.20 完了予定	
松阪城跡	松阪市長	石垣修理	3.7.8	3.7.19		
田丸城跡	玉城町長	石垣修理	3.7.20	3.7.31		樋田清砂氏の現地指導
松阪城跡	松阪市長	便所新築工事	3.9.27	3.10.7		
桑名城跡	柿安本店	扇会館改築	3.10.4	3.10.9	3.11.25	
西の追分	関町長	道路公園整備	3.10.31	3.11.1	4.3.20	樋田清砂氏の現地指導
名張藤堂家邸	名張市長	復元保存修理	4.1.29	4.2.7		県費補助事業

ウ 天然記念物

名 称	申 請 者	内 容	申 請	許 可	完 了	備 考
御池沼沢植物群落	四日市市教育長	保存対策調査	2.6.2	2.6.26	3.4.17	武田明正氏指導
オオダイガハラサンショウウオ	赤目溪谷保勝会長	飼育・研究	3.4.4	3.4.16	3.6.14	宮川村で7頭採取
和具大島暖地性砂防植物群落	三重県知事	災害復旧事業	4.3.13	4.3.23		武田明正氏の現地指導 平4.5事業

(5) 文化財防火デー 第38回

市町村名	実 施 機 関	実施概要	実施月日	対 象 文 化 財		
				国	県	市 町 村
桑 名 市	桑名市教育委員会	広報活動	1月9日	指定文化財所有者・管理者全員		
	桑名市教育委員会 桑名市消防本部	防火訓練			金地着色祭礼図屏風 (十念寺)	絹本着色当麻曼荼羅図 ・森陳明之墓(十念寺)
木曾岬村	木曾岬村教育委員会	広報活動	1月8日	指定文化財所有者・管理者全員		
東 員 町	東員町教育委員会	広報活動	1月20日		絹本着色景川和尚像 (瑞応寺)・木造薬師 如来坐像(穴太区)	
菰 野 町	菰野町教育委員会 菰野町消防署	消防設備点検	1月19日 1月20日 1月22日 1月25日			円空作両面仏(明福寺) ・賀宝寺の鯛口(神森区) ・五百羅漢(竹成区) ・土方家墓地(見性寺) ・仏涅槃図(智福寺)
長 島 町	長島町教育委員会	広報活動	1月22日 2月1日			木造阿弥陀如来立像 (阿弥陀寺)・旧長島城大手門(蓮生寺) ・沓履子安延命地藏大菩薩 (光岳寺)・石取祭行事 (下町、中町、萱町)・北島獅子舞(八幡神社)
四日市市	四日市市中消防署	消防訓練	1月22日		鯨船山車(南納屋町)	
		消防設備点検 広報活動	1月22日	十六間四方白星兜鉢 (鶴森神社)	鯨船山車(南納屋町)・大入道山車(中納屋町)・木造阿弥陀如来立像と九重の守(悟真寺)・木造毘沙門天立像(永福寺)・陶製燈籠(四日市市)	赤絵鬮文雪輪手鉢・灰釉鶴亀陽刻文茶碗(永田富夫)・木造大日如来坐像(大日寺)・泗水の井戸・絹本着色仏涅槃図(建福寺)・羽津阿倉川土地紛争判決文書(唯福寺)・井島文庫、天春家文書(四日市市)・獅子舞(御館、北野町)

市町村名	実施機関	実施概要	実施月日	対象文化財		
				国	県	市町村
四日市市	四日市市中消防署	消防訓練	1月23日		木造阿弥陀如来立像と九重の守(悟真寺)	
	四日市市南消防署	消防訓練	1月23日			如意輪観音坐像(観音寺)
		消防設備点検 広報活動	1月23日	木造不動明王立像(大聖院)	銅鐺(菟上耳利神社)・木造阿弥陀如来坐像、木造仏頭(顕正寺)	木造地藏菩薩坐像(地藏堂)・如意輪観音坐像(観音寺)・木造薬師如来坐像(薬師堂)・大念仏(東日野町、西日野町)・顕正寺山門(顕正寺)・四郷出張所(四日市市)・古文書(六名町)・釈迦如来坐像(光輪寺)・水沢堂ヶ山野境紛争判決文書(堂ヶ山町)・お諏訪おどり(諏訪町)
		消防訓練	1月24日			釈迦如来坐像(光輪寺)
	四日市市北消防署	消防訓練	1月24日	木造慈恵大師坐像(観音寺)	絹本着色仏涅槃図、木造誕生釈迦仏立像、木造地藏菩薩坐像、木造薬師如来立像(観音寺)	観音寺山門(観音寺)
		消防設備点検 広報活動	1月24日	木造慈恵大師坐像(観音寺)・木造阿弥陀如来立像、像内納入文書(善教寺)	絹本着色仏涅槃図、木造誕生釈迦仏立像、木造地藏菩薩坐像、木造薬師如来立像(観音寺)・絹本着色仏涅槃図、絹本着色真源大沢禪師像、絹本着色大済禪師像、紙本墨書大般若経(大樹寺)・木造地藏菩薩坐像(正法寺)・蝙蝠堂民俗玩具(伊藤鏡子)	観音寺山門(観音寺)、経塚公園(北山町)・絹本着色広山和尚画像(大樹寺)・獅子舞(市場町)・聖武天皇社(聖武天皇社)・竜王山宝性寺(薛田町)・志氏神社古墳、志野焼狛犬、志氏神社古墳出土品(志氏神社)
鈴鹿市	鈴鹿市消防本部	消防設備点検	1月22日	木造男神坐像(伊奈富神社)・木造大日如来坐像、木造釈迦如来坐像(妙福寺)・木造千手観音立像(林光寺)	木造釈迦如来坐像(南陽寺)・伊奈富神社神宝、棟札(伊奈富神社)・木造天神坐像(菅原神社)・絵馬群(江島若宮八幡神社)	
		消防訓練	1月24日		書院(竜光寺)・銅鐘(桃林寺)	
亀山市	亀山市消防署	防災訓練	1月20日			木造聖観音立像(大善寺)
関町	亀山市消防署 亀山市消防署関分署	防災訓練	1月23日	地藏院愛染堂、同附棟札、本堂附棟札下書、地藏堂再興日記、地藏菩薩本堂再興之由縁、鐘楼附三町普請鐘楼堂修復記(地藏院)		

市町村名	実施機関	実施概要	実施月日	対象文化財		
				国	県	市町村
津市	津市消防署	防火訓練	1月23日	絹本着色藤堂高虎像附同夫人像、絹本着色聖徳太子像、木造薬師如来坐像、紙本墨書民部田所勘注状他古文書(四天王寺)		四天王寺山門(四天王寺)
		消防設備点検	1月23日			木造十一面観音立像、木造阿弥陀如来坐像(仲福寺)
		消防設備点検	1月24日			獅子頭(石積神社)
		防火訓練	1月25日	西方指南抄、三帖和讃、専修寺御影堂、同如来堂、絹本着色阿弥陀三尊像、紙本着色善信上人絵詞伝、絹本着色阿弥陀三尊像、淡彩歌仙像、紙本墨書観無量寿経後柏原天皇宸翰附尊盛添文、紙本墨書後陽成天皇宸翰御消息、紙本墨書水鏡、唯信鈔、唯信鈔文意、親鸞聖人消息、教行信証、見聞集、大般涅槃経要文、尊号真像銘文(専修寺)	絹本着色真慧上人像、木造親鸞聖人坐像、木造阿弥陀如来立像、銅鐘、笈、紙本墨書皇太子聖徳奉讃、紙本墨書淨肉文附六角堂夢想偈文、紙本墨書親鸞夢記附経积文聞書、紙本墨書慈信房あて親鸞消息、紙本墨書覚信尼筆大谷屋地寄進状、紙本墨書日野氏系図、銅鐸、庭園(専修寺)	鐘楼、銅鐘、銅燈籠(専修寺)・紙本墨書九字名号、絹本墨書真慧筆野袈裟、紙本墨書川北道場建立縁起、絹本墨書真慧筆棺腰卷(久善寺)
		消防設備点検	1月25日	谷川土清旧宅(津市)・御影堂(専修寺)	聖徳太子立像(厚源寺)・慈智院本堂(慈智院)	一御田神社神宝類(一御田神社)
		防火訓練	1月26日	谷川土清旧宅(津市)・木造大日如来坐像、木造阿弥陀如来坐像(蓮光院)・木造阿弥陀如来坐像、木造聖観音立像、木造地藏菩薩立像(勝久寺)	結城神社文書(結城神社)	木造十一面観音立像、木造阿弥陀如来坐像(仲福寺)・そてつ(円福寺)・雲出小学校旧玄関(津市)・御倉堂(神宮寺)
		消防施設点検	1月26日	木造阿弥陀如来坐像(蓮光寺)	結城神社文書(結城神社)・絹本着色地藏菩薩像(地藏院)・絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図(深正寺)	獅子舞(中野町)・木造彩色高松院坐像(高松院)・銅燈籠(観音寺)・御倉堂(神宮寺)・阿部家住宅(阿部喜兵衛)
		防火訓練	1月27日	絹本着色阿弥陀如来来迎図(西来寺)		
		消防施設点検	1月27日	絹本着色阿弥陀如来来迎図(西来寺)		絹本着色光明本尊(上宮寺)
		河芸町	津市消防署河芸分署	消防施設点検	1月26日	指定文化財所有者・管理者全員
芸濃町	津市消防署芸濃分署	防火訓練	1月20日		磨崖聖観音立像附紙本淡彩聖観音立像(楠原区)・棟札(美濃夜神社)	

市町村名	実施機関	実施概要	実施月日	対象文化財		
				国	県	市町村
安濃町	連部地区自治会 安濃地区自治会	広報活動	1月26日		木造毘沙門天立像(善福寺)・木造聖徳太子立像(松原寺)	
久居市	久居地区広域消防組合	消防設備点検	1月21日			阿弥陀如来坐像(引接寺)・阿弥陀如来立像(浄福寺)・阿弥陀如来坐像(蓮蔵寺)
			1月23日			石造地藏菩薩立像(真光寺)
香良洲町	津市消防署香良洲分遣所	広報活動	1月23日		宮踊り(香良洲町)	
一志町	広域消防一志分署	消防設備点検	1月22日			木造金剛界大日如来坐像(日置区)・青巖寺本堂(青巖寺)・銅鐘(安楽寺)
白山町	久居地区広域消防組合	消防設備点検	1月22日	絹本着色仏涅槃図、木造阿弥陀如来倚像、紙本墨書成願寺文書(成願寺)		
嬉野町	嬉野町教育委員会	消防設備点検	1月24日	木造薬師如来立像(薬師寺)		
美杉村	美杉村教育委員会	消防設備点検	1月26日			仲山神社本殿(仲山神社)
三雲町	松阪地区広域消防組合三雲分署	消防設備点検	1月25日	木造阿弥陀如来坐像(永善寺)		
			1月27日			松浦武四郎誕生の地(松浦清)
松阪市	松阪地区広域消防組合	防災訓練	1月23日	来迎寺本堂(来迎寺)	紙本墨書真盛自筆消息(来迎寺)	来迎寺裏門、永禄十年北畠具教制翰、古田大膳書状(来迎寺)
		防災訓練消防設備点検	1月24日	本居宣長旧宅、同宅跡、同稿本類並関係資料(松阪市)	紙本墨書本居宣長自筆稿本類、本居宣長関係資料(松阪市)	
飯高町	飯高町教育委員会 飯高町消防団	消防設備点検	1月31日	指定文化財所有者・管理者全員		
明和町	広域消防明和分署	消防設備点検	1月25日 1月26日	指定文化財所有者・管理者全員		
伊勢市	伊勢市消防本部	消防設備点検	1月17日	旧林崎文庫(神宮)・着色伊勢新名所絵歌合、毛抜形太刀、古文尚書、据台付子持懸、金銅透彫金具、角屋家貿易関係資料(神宮徴古館)	紙本着色伊勢両宮曼荼羅図(神宮徴古館)	祭主職舎(神宮)・舞楽面3面(神宮徴古館)
			1月20日	木造阿弥陀如来立像(久昌寺)	紙本着色長谷川等伯四季山水図屏風、雲版(等観音)	絹本着色仏涅槃図、絹本着色十三仏画像、厨子(等観寺)

市町村名	実施機関	実施概要	実施月日	対象文化財		
				国	県	市町村
伊勢市	伊勢市消防本部	消防設備点検	1月21日		獅子舞(菟社)	南山古墳出土遺物(伊勢市)
			1月22日	陶経筒(世義寺)・紙本墨書結城宗広並夫人書状、紙本墨書光明寺残篇(光明寺)	木造愛染明王坐像(世義寺)・木造阿弥陀如来坐像、紙本墨書光明寺文書(光明寺)・経藏(寂照寺)	木造十一面観音立像、木造薬師如来坐像(世義寺)・絹本着色結城宗広肖像図、木造勢至菩薩立像、光明寺境内石塔群(光明寺)
			1月23日	金剛証寺本堂附厨子、紙本著色九鬼嘉隆像、木造雨宝童子立像、銅造双鳳鑑、太刀、伊勢国朝熊山経ヶ峰経塚出土品(金剛証寺)	木造地藏菩薩立像(金剛証寺)	
		1月24日	消防訓練 消防設備点検	玉篇、古事記裏書、古事記上巻、日本書紀私見聞、神宮法衆和歌、度会氏系図、日本書紀私記、皇太神宮儀式帳、等由気太神宮儀式帳、浪川春海天文関係資料(神宮文庫)	紙本墨書御塩殿文書(神宮文書)	御師邸門、中臣祓注抄、神鳳鈔、和歌色葉集抜書、梵燈庵主返答書(神宮文庫)
玉城町	伊勢市消防本部	消防施設点検	1月14日	木造十一面観音立像(田宮寺区)		
二見町	伊勢市消防本部	消防設備点検	1月16日	木造千手観音坐像(大江寺)・木造薬師如来坐像(明星寺)	紙本墨書第般若経(松下区)	
小俣町	小俣町教育委員会	広報活動	1月24日	指定文化財所有者(9件)		
南島町	南島町教育委員会	広報活動	1月24日		雲版(片山寺)・紙本墨書古和文書、紙本墨書大般若経(古和浦区)・紙本墨書竈方古証文(道行区)	
紀勢町	紀勢町消防団	防災訓練	12月7日			枝垂れ桜、古代鏡(紀勢町)
度会町	伊勢市消防署	消防設備点検	1月13日	木造十一面観音立像(正法寺)	獅子頭(下久具区)	
鳥羽市	鳥羽市消防本部 鳥羽市消防団	消防訓練	1月26日	庫藏寺本堂(庫藏寺)		
志摩町	志摩広域消防組合志摩消防署	消防設備点検	1月24日		越賀の舞台、旧越賀村郷倉(志摩町)	
阿児町	志摩消防署	消火訓練 消防設備点検	1月29日			鶴方獅子舞(鶴方獅子保存会)

市町村名	実施機関	実施概要	実施月日	対象文化財		
				国	県	市町村
阿見町	志摩消防署	消防設備点検	1月29日	安乘人形芝居(安乘人形芝居保存会)	木造薬師如来坐像(国分寺)・紙本墨書大般若経(薬師堂)	木造薬師如来坐像(安乘寺)・志摩国分寺本堂(前田義恵)・木造大日如来坐像(見宗寺)・木造観世音菩薩立像、仏足石、鰐口(少林寺)
磯部町	志摩広域消防組合磯部分署	広報活動	1月27日	指定文化財全所有者(52件)		
上野市	上野消防署	消防訓練	1月26日	木造薬師如来坐像(西盛寺)		
			1月28日	町井家住宅(町井良樹)・高倉神社本殿境内社(高倉神社)・猪田神社本殿(猪田神社)	木造閻魔堂(常住寺)・蓑虫庵(上野市)	芭蕉翁故郷塚(愛染院)
名張市	伊賀南部消防組合	消防訓練	1月26日	石造燈籠(延寿院)		納経版木と宝印版木、枝垂桜(延寿院)
		広報活動	1月26日	全指定文化財		
伊賀町	伊賀町消防団	消防訓練	1月26日			藤堂藩主代々施入文、石造宝篋印塔、梵鐘と鐘楼(徳永院)
阿山町	阿山町教育委員会	消防設備点検	1月25日 1月26日		木造薬師如来坐像(西音寺)	
島ヶ原村	伊賀北部消防組合島ヶ原出張所	消防訓練	1月27日		絹本着色仏涅槃図(西念寺)	
大山田村	伊賀北部消防組合大山田村出張所	消防訓練	1月26日	絹本着色興正菩薩画像、木造俊乘上人坐像、木造僧形坐像、木造如来坐像附石造基壇、板彫五輪塔(新大仏寺)	水晶舍利塔(新大仏寺)	大仏殿、十一面観世音菩薩、地藏菩薩立像(新大仏寺)
青山町	名張消防署青山分署	消防設備点検	1月26日	大般若経附唐櫃(常楽寺)・大村神社宝殿(大村神社)・木造十一面観音立像(宝蔵寺)	参宮講看板(富岡昭)・柏尾当番帳(柏尾区)・絹本着色大威徳明王像(滝仙寺)	棟札(種生神社)
熊野市	熊野市消防署	消防設備点検	1月24日			釈迦涅槃図(最明寺)
			1月27日			天神画像(木本神社)・堀内安房守の墓(安楽寺)・能面(嶺泉寺)・薬師如来坐像(桃源寺)・寺谷御仕入方質倉(斎藤千毅)・達磨尊画像(光福寺)・大般若経(大義院)

(6) 大規模開発と文化財保護

ア 大規模土地取引事前協議 (地域振興課)

番号	場所	事業名	事業者	協議日	関連文化財	備考
3J-1	津市北河路町・納所町	産業展示施設	三重産業センター	3.4.12	蔵田遺跡	発掘調査
3J-2	久居市戸木町	工場敷地用地	田伏建設・高瀬鉄工所	3.4.12	狐塚古窯跡	現状保存指導
3J-3	美杉村竹原 白山町二俣・真見	雲出川カントリークラブ	興起産業	3.4.12		分布調査指示
3J-4	鳥羽市船津町・岩倉町・安楽島	鳥羽湾パールカントリークラブ	愛晃	3.4.12		分布調査指示
3J-5	伊勢市上野町	神宮カントリークラブ	さはら興産	3.4.12		分布調査指示
3J-6	度会町上久具	度会カントリークラブ	大和団地名古屋支店	3.4.12		分布調査指示
3J-7	名張市上三谷	赤日カントリークラブ	ナックビクジャパン	3.4.12		分布調査指示
3J-8	一志町井生	食品配送センター	昭和	3.5.9		分布調査指示
3J-9	鈴鹿市御園町	スポーツイベント広場	鈴鹿サーキットランド	3.5.9	池の杭1・2号墳、 奥山田古墳	現状保存
3J-10	松阪市上川町	工場団地	中部開発	3.5.9		分布調査指示
3J-11	関町加太	レジャーランド	イシバシ工業	3.5.9		分布調査指示
3J-12	四日市市川原田町	倉庫用地	ヨンソー開発	3.7.25	無	
3J-13	松阪市立野町・丹生寺町	住宅団地	倉口建設	3.6.4	椋谷古墳・向山古墳群・ 口南戸古墳	口南戸古墳調査済 分布調査指示
3J-15	亀山市白木町 関町白木一色	工場及び住宅用地	住友商事	3.6.4		伐開後の分布調査指示
3J-16	亀山市管内町他	住宅工業団地	大成建設	3.6.4		分布調査指示
3J-17	白山町小杉	公園墓地	創価学会	3.7.30		分布調査指示
3J-18	四日市市川原田町・ 貝塚町	四日市食品加工団地	四日市市土地開発公社	3.8.14		分布調査指示
3J-19	大王町船越	研修宿泊及びコンドミニアム	船越温泉	3.10.3		分布調査指示
3J-20	松阪市伊勢寺町・ 岡山町	倉庫及び流通センター	中部開発	3.10.3		分布調査指示
3J-21	久居市榑原町	ホテル・リゾートマンション	ジャパンピーアンドエス	3.11.6	茶臼山古墳	現状保存
3J-22	亀山市白木町・小川町	工場及び住宅	鴻池組	3.11.6	無	
3J-23	亀山市両尾町他	ゴルフ場	三重ロイヤル開発	3.11.28		分布調査指示
3J-24	津市産品	ゴルフ練習場及びテニスコート	小津純男	3.11.30		分布調査指示
3J-25	南勢町神津佐	別荘及びレジャー施設	上島緑化総業	3.10.3		分布調査指示
3J-26	上野市沖他	工場・住宅・リゾート・ レジャー	森永開発	3.11.25	石山古墳等 オオタカ・ダルマガエル等	分布調査指示

番号	場所	事業名	事業者	協議日	関連文化財	備考
3J-27	上野市蔵繩手	工業団地	聖心住宅	3.11.6	横穴式古墳1	現状保存指導
3J-28	津市野田	住宅団地	大和開発・松阪不動産	3.12.2		分布調査指示
3J-29	松阪市上川町・下蛸路町	ゴルフ練習場	西之坊商事	3.12.2	平栄古墳群	発掘調査
3J-30	四日市市貝塚町	ゴルフ練習場	パシフィックゴルフサービス	3.12.26		分布調査指示
3J-31	松阪市西黒部町	卸団地	松阪流通センター	3.12.26		分布調査指示
3S-12	二見町浦口他	山紫水明もてなしの郷	三交不動産	3.6.4	溝口1号墳・五峯山2号墳・安養寺跡・豆石山経塚	分布調査指示 試掘・発掘調査
3S-21	白山町川口	ゴルフ場コース増設	平城開発・白山開発	3.7.12		有無の確認依頼
3S-59	四日市市波木町	南四日市カントリークラブ	南四日市総合開発	3.12.27	宮蔵遺跡	現状保存

イ 大規模開発設計協議（開発指導課）

番号	場所	事業名	事業者	協議日	関連文化財	備考
3S-1	磯部町坂崎他	志摩スペイン村	近鉄	3.4.3	日の出丘遺跡	伐開後確認指示
3S-2	上野市西明寺	工場増設	INAX	3.4.5	無	
3S-4	伊勢市円座町	円座工業団地	伊勢市土地開発公社	3.4.12	無	
3S-5	松阪市久保町	松阪久保南苑	三重県労働者住宅生活協同組合	3.4.26	無	
3S-6	白山町二本木他	榊原カントリー倶楽部コース増設	榊原国際観光	3.5.16	無	
3S-7	桑名市下深谷部	野球場	桑名市長	3.5.24	無	
3S-8	員弁町大泉	工場	員弁町長	3.5.23	無	
3S-9	北勢町阿下喜	六石高原ゴルフ	桑名カントリー倶楽部	3.6.1	無	
3S-10	上野市一之宮	資材保管倉庫	松本組	3.6.13	富坂要害南岩跡	試掘の結果確認出来ず
3S-13	美里村家所	家所工業団地	三重県土地開発公社	3.6.14	中世墓	発掘調査
3S-14	菟野町菟野	菟野倶楽部ジャックニクラウスゴルフコース	中部開発	3.6.21	延長寺跡・平岡神社跡・羽田神主墓	現状保存 伐開後分布調査
3S-15	白山町三ヶ野	プリンスレイクウッドゴルフコース	プリンスレイクウッド	3.6.21	無	
3S-16	上野市余野	工場	日泉興産	3.7.1	無	
3S-17	藤原町本郷	藤原工業団地	員弁郡土地開発公社	3.7.4	白瀬城跡	試掘後協議
3S-18	上野市治田	流通・研修センター他	カプコン中森建設	3.7.10	無	
3S-19	上野市白檜	工場	日コンハウス	3.7.18	無	
3S-20	津市藤方	藤方住宅	大栄住宅	3.7.15	無	
3S-22	上野市大内	工場及び倉庫	筒井電産	3.7.17	稲荷神社跡	現状保存
3S-23	久居市明神町	店舗	ジャスコ	3.7.22	無	

番 号	場 所	事 業 名	事 業 者	協議日	関連文化財	備 考
3S-24	北勢町向平	工場	石塚硝子	3.7.29	無	
3S-25	磯部町の矢	伊勢志摩ゴルフクラブ	大和ハウス	3.7.31		分布調査指示
3S-26-1	上野市余野	物流倉庫	オーク	3.7.31	無	
3S-26-2	久居市榑原町	富士カントリー榑原温泉ゴルフ倶楽部	富士グリーン	3.8.9	無	
3S-27	三雲町五主	住宅造成	ミマツホーム	3.8.5	無	
3S-28	上野市西山	キャニオン上野カントリークラブ	キャニオン	3.8.8	無	
3S-29	鳥羽市小浜町	東急鳥羽リゾート計画	東急不動産	3.8.27	無	
3S-30	関町加太	名阪関レジャーランド	イシバシ工業	3.8.30	無	
3S-31	鈴鹿市地子町	鈴鹿農協本館	鈴鹿農協	3.9.4	無	
3S-32	鈴鹿市寺家	ゴルフ練習場	和田庄	3.9.6	無	
3S-33	名張市蔵持町	桔梗ヶ丘住宅	野村不動産	3.9.20	無	
3S-34	員弁町大泉	住宅団地他	員弁町長	3.9.30	無	
3S-35	北勢町川原	京ヶ野ゴルフ倶楽部	京ヶ野ゴルフ倶楽部	3.9.27	川原城跡 ネコギギ	現状保存 生息調査後協議
3S-36	多気郡五佐奈	多気町工業団地	多気町長	3.10.3	遺物散布地No1. 2.5・倉懸1.2 号墳	現状保存
3S-37	上野市猪田	猪田工業	日研ハウス	3.10.9	無	
3S-38	津市一身田	上津部田開発事業	三交不動産	3.8.29	峯治城跡	発掘調査
3S-39	四日市市貝塚町	四日市食品加工	四日市土地開発公社	3.10.18	無	
3S-40	上野市下友生	工場	大阪製薬上野工場	3.10.21	無	
3S-41	安濃町戸島	平塚工業団地	安濃町長	3.10.4	平林6号墳・平林遺跡	発掘調査
3S-42	津市高茶屋小森町	ヒューマンタウン高茶屋	クボタハウス	3.10.23		分布調査指示
3S-43	四日市市川原田町	南川原田町工業団地	ヨンソー開発	3.10.29	無	
3S-44	四日市市小古曾	倉庫	ユカテック	3.10.29	無	
3S-45	上野市千歳	商業施設及び運動場	合同	3.11.5	無	
3S-46	上野市諏訪	諏訪カントリークラブ	東栄住宅	3.11.22	無	
3S-47	津市北河路町	県産業振興センター	県産業振興センター	3.11.2	蔵田遺跡	発掘調査
3S-48	鈴鹿市高塚町	高塚団地	ホンダ開発	3.11.27	無	
3S-49	白山町藤他	トリムランドリバーサイドクラブ	トーア	3.11.21	藤の洞穴遺跡 白山神社跡	現状保存
3S-50	菰野町音羽	産業廃棄物中間処理場	村上技研	3.11.26	無	
3S-51	白山町川口	白山ビレッジゴルフ	白山開発	3.12.6	無	
3S-52	鈴鹿市江島町	店舗	ミスタージョン	3.12.9	無	

番号	場所	事業名	事業者	協議日	関連文化財	備考
3S-53	亀山市長明寺	物流倉庫	ホンダエクスプレス	3.12.13	無	
3S-54	嬉野町宮野	滝之川ゴルフ倶楽部	三栄開発	3.12.13	無	
3S-55	上野市治田	名阪工業団地	合同	3.12.13	無	
3S-56	上野市佐那具	東野工業団地	鳳影エステート	3.12.17	堂垣内遺跡 大多田遺跡	発掘調査
3S-57	上野市余野	名阪パークヒルカントリークラブ	ヒラサワ	3.12.26	無	
3S-58	大安町梅戸	大安町東山工業団地	員弁郡土地開発公社	3.12.25	遠見塚古墳・向山遺跡・遠見塚遺跡	発掘調査
3S-60	志摩町布施田	志摩町総合スポーツセンター	志摩町長	3.12.26	無	
3S-61	伊賀町山畑	伊賀上野配送センター	日硝ハイウェー	4.1.16	無	
3S-62	亀山市南平尾町 芸濃町椋本	霞ゴルフ倶楽部	ジーケー開発	4.1.18	無	分布調査指示
3S-63	員弁町石仏	新員弁パル	桑名商業開発	4.1.7	段遺跡	発掘調査
3S-64	亀山市両尾町	ライオンズゴルフ倶楽部増設	ライオンズ開発	4.1.21	無	
3S-65	伊勢市柏町	石材加工工場他	シンセイマープル	4.1.27	無	
3S-66	白山町小杉他	中部池田記念墓地公園	創価学会	4.1.31	無	
3S-67	鈴鹿市西条町	住宅団地	三交不動産	4.2.1	沢遺跡 沢城跡	現状保存
3S-68	多度町古野	多度カントリークラブ	新多度開発	4.2.3	無	
3S-69	鳥羽市安楽島町	教会他	リゾートトラスト	4.2.13		分布調査指示
3S-70	明和町山大淀	工場	松阪興産	4.2.17	無	
3S-71	上野市白檜	ほのぼの研修センター	キャニオン	4.2.19	無	
3S-72	津市産品	ジョイススポーツガーデンゴルフ練習場	小津純男	4.2.24	衣谷古墳	現状保存
3S-73	大王町船越	大王ハーバーベイリゾート	ホープライト	4.2.24	無	
3S-74	津市半田	半田団地	ロイヤルエージェンシー 白田みち	4.3.3	無	
3S-75	伊賀町愛田	ロイヤルオークゴルフクラブ	柏栄不動産	4.3.6	石尾古墳・菰池1・2号墳・祭祀跡	現状保存
3S-76	河芸町上野	社屋	三重県環境保全事業団	4.3.10	八幡谷遺跡	消滅
3S-77	多度町戸津	多度ショッピングセンター	ユーストア	4.3.12		分布調査指示
3S-78	久居市戸木町	工場	高瀬鉄工所	4.3.13	無	
3S-79	大王町船越	大王町プロジェクト	船越温泉	4.3.17	無	
3S-80	名張市青蓮寺	名阪工業団地	合同	4.3.24	無	
3S-81	上野市余野	アスファルトプラント及び工場・倉庫	リサイクルセンター	4.3.24	無	
3S-82	楠町小倉	倉庫	吉野石膏	4.3.24	無	

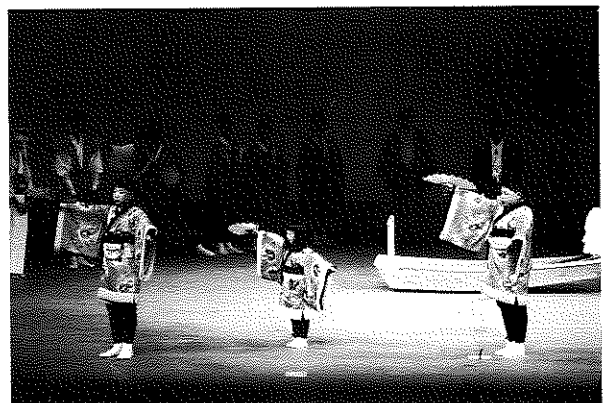
3 文化財普及・公開

(1) 文化財講習会

- ア 目的 文化財保護に携わっている三重県文化財調査員、県及び市町村文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
- イ 主催 三重県教育委員会
全国重要文化財所有者連絡協議会三重支部
- ウ 期 日 平成3年11月6日(水) 13:00~16:45
- エ 場 所 斎宮歴史博物館講堂
- オ 参加者 116名
- カ 内 容 ①「三重県の寺社建築と修理について」
岡田英男氏(奈良大学教授・金剛証寺本堂修理工事監督)
解体修理を行った専修寺如来堂や、現在解体修理中の金剛証寺本堂の事例をもとに、寺社建築の修理経過や工事、発掘調査での新発見を、スライドを使って説明を受けた。また、氏が従事し、最も印象に残る当麻寺曼荼羅堂修理について紹介され、修理の重要性について講義を受けた。
- ②「開発と天然記念物の保護について」
武田明正氏(三重大学助教授・三重県文化財保護審議会委員)
天然記念物の概念の成立過程をたどることで、記念物の存在意義を明らかにし、天然記念物の特殊性から保護上の問題について説明を受けた。最後に三重県の植物的自然の特徴をスライドで紹介され、記念物は地域の伝統、文化と自然環境との両方のシンボルであり、天然記念物の指定は地域の自然環境を護ることにつながることを強調された。

(2) 第33回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

- ア 趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内の、民衆の中ではぐくまれ、守り伝えられてきた民俗芸能を広く一般に公開し、その鑑賞を通して民俗文化財への理解を深め、あわせて上演芸能の保存伝承の一助とする。
- イ 主 催 第33回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会 京都府教育委員会
舞鶴市教育委員会
- ウ 後援・協賛
文化庁 全国民俗芸能保存振興
市町村連盟 京都府 舞鶴市
- エ 期 日 平成3年10月20日
12:00~16:30
- オ 会 場 舞鶴市総合文化会館
(舞鶴市字浜)
- カ 三重県上演種目
磯部の御神田
磯部の御神田奉仕会(志摩郡磯部町)



(3) 文化財愛護強調週間行事 (11月1日～11月7日)

ア 県

実施機関	内 容	週間中入場者
齋宮歴史博物館	企画展「天神信仰と太宰府」(特別展示室) 講演会「菅原道真と北野天神縁起」(講堂) 同志社大学教授 笠井昌昭氏	1,579名 130名
三重県埋蔵文化財センター	平安ファッション十二単試着会(エントランスホール) 第11回三重県埋蔵文化財展(名張市図書館視聴覚室) 展 示「古代の伊賀を探る」 講演会「古代の寺院－伊賀と伊勢」 三重大学教授 八賀晋氏	400名 1,250名 150名
三重県博物館協会	三重県移動博物館(小俣町総合体育館) 講演会「人間と動物の知恵くらべ」 (体育館トレーニングルーム) 鳥羽水族館長 中村幸昭氏	5,000名 170名

イ 市 町 村

実施機関	内 容
多 度 町	文化財展「民俗資料展」
河 芸 町	文化財展「我が家のたからもの展」
津 市	文化財めぐり 文化財特別展示(銅鐸)
海 山 町	文化財パトロール 文化財展「李峯と郷土の俳句今昔展」
紀伊長島町	文化財展「石仏展」
志 摩 町	文化財散歩「志摩町をえがこう、かこう、とろう会」
明 和 町	文化財展「甦る三忠のきんからかみ」
菰 野 町	文化財展「竹の文化」
関 町	歴史講座
伊 賀 町	文化財めぐり
熊 野 市	文化財説明板の設置 文化財講演会「夢の巨人 南方熊楠」 田辺市文化財審議委員 中瀬喜陽氏

(4) 文化財愛護活動推進方策研究委嘱

文化庁が文化財愛護のための地域活動の推進方策に関する研究を県に委嘱するものである。平成3年度は次の3団体を研究実践団体と定め、児童、生徒または一般住民等による文化財愛護活動のあり方について、具体的に開発、研究を行った。

長太鯨船保存会(鈴鹿市)・上三瀬史跡保存会(大台町)・熊野歴史同好会(熊野市)

概要は以下のとおりであるが、詳細は文化庁「文化財愛護活動推進方策研究委嘱報告書」に記載の予定である。

ア 長太鯨船保存会(鈴鹿市)

実践研究の主題

鯨船及びそれに付帯する伝統芸能の保存並びに後継者の育成

実践の期間

平成3年4月1日～平成4年3月31日

実践研究の場の地域特性

長太地区は鈴鹿市東北部に位置し、東は伊勢湾、北は三重郡楠町に接し、農業漁業が盛んであったが、最近では都市化が進んでいる。

鯨船行事は鯨船山車に乗った着飾った踊り子が、竹で組んだ鯨を槍で突く所作を演じる行事であり、古式鯨漁を伝える漁撈儀礼として貴重なものである。長太地区では8月1日の飯野神社の祭礼に鯨船行事が奉納されていたが、人的な理由で昭和41年をもって中止され、山車は倉庫に保管されたままになっていた。

平成2年8月の県教育委員会の調査を機会に、鯨船を見直そうという気運が芽生え鯨船行事の復活を目指し、地域が一体となって「長太鯨船保存会」が、会員300名をもって結成された。

実践研究のねらいと研究事項

北長太馬場地区に伝承された、鯨船とこれに付帯する伝統芸能を併せて保存し、これを活用して地域の活性化に役立て、文化財愛護思想の啓蒙に資する。

- ・後継者の育成事業
- ・実践披露（10月9・10日の飯野神社秋祭に奉納）
- ・広報及び啓発事業
- ・記録の作成
- ・各地の鯨船行事と施設の見学

実践研究の概要

- ① 保存会の組織 行事が中止され20数年が経過しているため、組織作りから始め体制を確立した。

総務部－保存会会務全般

事業部－実践披露の計画と実施、鯨の製作

指導部－後継者育成、鯨船上下歌・太鼓、鯨の取扱い

保存管理部－船体・艦装品・鯨等の保管と管理

広報部－会報の発行・ビデオ撮り、写真撮影等

- ② 実践活動

理事会 8回 視察 5回 後継者育成練習会 10回 会報 3回

講演会 1回 実践披露準備等 4回 実践披露 2回 その他 5回

- ③ 後継者育成事業

指導者として、鯨船上下歌3名・太鼓2名・踊り1名・鯨の操作1名の合わせて7名が、踊り子2名・歌い手20名・鯨の操作数名に指導を行った。練習は8月17日～9月28日の間に計7回行い、参加者は延べ143名に及んだ。また、これとは別に総合練習を10月2日から3日間行い当初の目的を達成した。

- ④ 実践披露準備等

鯨作り 9月22日 参加者15名

鯨船の艦装 10月6日 参加者13名

衣装の調達及び各機関との調整 部会ごとに対応

- ⑤ 実践披露

10月9日(水)雨 生憎の雨であったが、山車をビニールで覆い決行。多くの人々の声援を受け、計画どおり実施。

10月10日(木)晴 子供会と会員の参加も増えて賑やかに出発。多数の観客あり。

⑥ 広報及び啓発事業

講演会 「三重県下の鯨船行事」海の博物館学芸員 野村史隆氏
会報 3回 ・町内へのポスター掲示

⑦ 記録の作成 写真・ビデオ撮影

⑧ 視察 5回(南納屋町鯨船祭り・磯津の鯨船祭り・海の博物館等)

実践活動の成果

25年間の空白の時代を克服の上、復活のための努力を重ねた結果、無事その成果を実践披露することが出来た。地域住民に対し、鯨船祭りの存在を知らしめるとともに、その存続を望む多くの声を聞いた。また、地域の連帯と地域文化の大切さを理解することが出来た。

実践活動の反省と課題

① 後継者育成について

今回の実践では初年度ということもあり、中高年が主体であった。今後の課題としては子供や若い人の参加を増やしていきたい。

② 地域の文化の再発見

この活動を通して、郷土愛の心を養うことができた。地域に住み育った人々が将来この地を離れても思い出となるような夢を与えることができた。

イ 上三瀬史跡保存会(大台町)

実践研究の主題

史跡の保全と歴史学習

実践の期間

平成3年4月1日～平成4年3月31日

実践研究の場の地域特性

大台町は昭和31年、三瀬谷町と川添村の両村が合併した町で、大台山地の麓に立地することから、それにちなんで町名としたと言われる。地理的には県の中南部、東西に狭長な多気郡のほぼ中央に位置し、大台ヶ原に源を発する宮川と、その支流大内山川との合流点をほぼ起点として、下流域の左岸に造成された標高50m前後の河岸段丘の上に、東西に約21kmにわたって帯状に散在する聚落である。

この地は宮川に沿って熊野街道が通じ、古来、熊野三山に詣でる道者の往来が賑わった。熊野街道は現在「国道42号線」と姿を変え、この国道と並行してJR紀勢本線が南北に走っている。

このように、大台町は交通の要地であり、特に宮川の恩恵を受けて発達を遂げた所であるが、地積の大部分は山林原野で、耕地は少なく山地特有の状況を示している。それ故に林業や茶栽培が盛んである。

実践研究のねらいと研究事項

- ・当町の三瀬谷地区には、中世における北畠氏関係の史跡として北畠具教の隠棲の地としての館跡。
(伊勢国司8代北畠具教は、この地において天正4年、織田信長の指し向けた刺客によって謀殺された。)具教の胴を葬ったと伝える胴塚、館跡防衛のための見張り台。具教を主神として祀った北畠神社などが存在している。
- ・史跡の少ない当町にとって、これらを十分に保全管理し、広くPRして、その理解を深めるように考慮することは、大変必要なことである。既に上記上三瀬区においては、ほぼ20年以前、当史跡の保存会を設け、史跡の管理保全・植樹・案内標識の設置など、年次を追ってその整理に努めてきた

が、まだまだ充分とは言えないところもある。

- ・この度は、この史跡保存会の活動を土台とし、特に地域の小学生（4年～6年）を対象としてとりあげ、郷土に存在する史跡のあらましを知らせ、それについての話し合い、写生、感想文などの学習や、会員と共に除草等の実践作業に参加させ、一層印象を深めようと計画した。この子供たちの活動に対し、上記保存会員が進んで協力することは言うまでもない。
- ・なお当町の北島氏関係史跡と特に深い関わりのある一志郡美杉村の「北島神社」と資料館を上記保存会有志付添いのもとに見学旅行を実施し、子供たちにその印象を一層深くするよう計画している。

実践研究の概要

・史跡愛護実施の記録

5月11日(土) 午後—————史跡案内板、標識の点検

6月15日(土) 16:00～18:00——館跡付近の清掃

6月19日(水) 14:00～16:00——北島史跡について 多気郡小中学校先生有志

9月8日(日) 8:30～11:30——北島史跡のあらまし 区内小学生

9月28日(土) 16:00～18:00——史跡の清掃作業

12月4日(水) 14:00～16:00——北島史跡について説明

2月9日(日) 8:30～12:00——館跡の清掃 桜のてんぐす病枝の除去

3月2日(月) 史跡案内板を改める(2ヶ所) 北島神社、見張所

3月11日(水) 13:00～15:00——北島史跡について説明

3月28日(土) 美杉村北島神社、資料館の見学(子供全員、保存会有志付添い日帰り見学旅行実施)

- ・子供たちが、史跡の学習や除草などの実践活動の内容は次のようである。

① 館跡について調べる

 胴塚について調べる

 見張台について調べる

 北島神社について調べる

 単に講話のみに流れることを避け、既有知識を引き出し、または家人の話なども取り上げ、具体化するよう考えた。

② 写生させる

 上記4ヶ所の中、自分の好む所を写生させる。

③ 感想文を書く

 自分の特に興味をもったところにつき感想文を書く

④ 除草などの作業を行った

 館跡の除草を上記史跡保存会有志の指導助言によって実施した。子供、大人共々に楽しく除草などを行った。

⑤ 北島神社・史料館見学 一志郡美杉村見学旅行

実践研究の成果

- ① 北島史跡は当学区小学校の遠足地となっており、春秋には子供たちの楽しい遊び場として利用されているが、史跡としての学習はされていない。しかし、この度の学習によって、当史跡に対し子供なりに認識を新たにしたことと思われる。
- ② 館跡の除草作業を保存会員の協力で行ったが、史跡保存の活動が長期にわたって続けられていること、また老人会の人々もこれに参加していることを知って、史跡に対する感じを新たにし、

文化財愛護に取り組む郷土の先輩の姿を見て、感ずるところが多かったことと思われる。

実践活動の反省と課題

- ① 今回は小学生の参加を特に上三瀬区の子供たちにしぼって参加させたが、幸い当校の教諭（当字出身）も付添いとして参加されたので子供たちの引率や、場所移動、学習時などその折々の協力によって、今回の学習がスムーズかつ効果的に実施されたと考えている。
- ② 参加した子供と史跡保存会員は同字であったので、大人側は子供の顔をよく知っており、それだけこの学習を効果的なものとしたと考えられる。
- ③ 当町には本報告書に記載以外の史跡が他の字に二ヶ所存在する。今後は回数を増し、他の二ヶ所の史跡も取り上げて子供たちの史跡学習を重ねていきたいと考えている。

ウ 熊野歴史同好会（熊野市）

実践研究の主題

地域における民俗・民謡の採集およびその研究と文化財の保護活動

実践の時期

平成3年6月～平成4年2月

実践研究の場の地域特性

熊野市は三重県の南部に位置し、人口23,552人（4.2.1現在）、面積は257.62km²であって、県下で過疎化が最も進んでいる小都市である。南は黒潮おどる熊野灘から太平洋に連なり、背後には紀伊山脈をひかえ、温暖多雨の気候の地域である。

昭和29年11月に、8ヶ町村が合併して市制が施行されたが、それまでは有井村であった有馬地域においては、日本書紀にも由来が記録されている花の窟神社や産田神社、戦国時代の有馬氏に関わる史跡及び縄文、弥生、古墳時代の遺跡など文化遺産の多い地域である。

実践研究のねらいと研究事項

花の窟神社や産田神社を中心として発展してきた有馬地域の歴史的な経緯を探り、併せてこれに関わる民俗、民謡の採集および研究と文化財の保護活動として標識、解説板、防護柵設置などを実施する。

実践研究の概要

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 3. 6. 15 | 指導者を招いて有馬地区において聞き取り調査を実施 |
| 3. 7. 13 | 指導者を招いて有馬地区の花の窟神社や産田神社についての聞き取り調査を実施 |
| 3. 8. 3 | 有馬地区にある歴史資料館を見学調査 |
| 3. 8. 10 | 有馬地区の古老による聞き取り調査を実施 |
| 3. 10. 12 | 指導者を招いて有馬地区の文化財に関する聞き取り調査を実施 |
| 3. 10. 27 | 和歌山県新宮市の速玉神社の文化財保護活動の状況についての見学調査を実施 |
| 3. 11. 10 | 有馬地区の古老による聞き取り調査を実施 |
| 3. 12. 1 | 指導者を招いて有馬地区の花の窟神社や産田神社についての聞き取り調査を実施 |
| 4. 1. 12 | 指導者を招いて有馬地区の文化財に関する聞き取り調査を実施 |
| 4. 1. 15 | 有馬地区の花の窟神社と一里塚に文化財説明看板を設置 |
| 4. 2. 2 | 有馬地区の花の窟神社お綱かけ神事を見学調査 |
| 4. 2. 16 | 指導者を招いて有馬地区と歴史民俗資料館で聞き取り調査を実施 |

実践研究の成果

- ① 花の窟神社と産田神社については、大変興味深いものがあるが、少しは歴史的経緯、これに関

わる民俗、民謡について知ることができた。

- ② 有馬地区にはまだまだ数多くの民俗的伝承、史跡等があることを知った。
- ③ 文化財保存活動については、3ヶ所（1ヶ所は3月中に設置予定）に文化財説明看板を設置することができた。

実践活動の反省又は特筆すべき事項

- ① 民俗、民謡の採集については、あまり地元の古老から聞くことができなかった。古老からは文献には記録されていない、いろいろな話を聞くことができる。昔とちがい現在の子供たちは祖父、祖母などのお年寄りからの話を聞く場がなくなってしまうている。今の古老が亡くなればそれまで語り伝えられてきた大切な宝が消えてしまうことになる。これからはできるだけ早い機会に数多くの古老たちの話を聞いて記録していかなくてはいけない。
- ② 文化財保護については、教育委員会の指導を受け、これからも活動を続けていくが、市民にも文化財の大切さの理解を深める何かの方策が必要ではないかと考えている。

4 登録審査会

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

ア 目的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値ある刀剣類を審査のうえ登録する。

イ 開催期日

回	実施日	時間	会場
1	4月23日(火)	10:00~14:00	県津庁舎会議室
2	5月28日(火)	10:00~14:00	県熊野庁舎会議室
3	6月25日(火)	10:00~14:00	県四日市庁舎会議室
4	7月30日(火)	10:00~14:00	県伊勢庁舎会議室
5	9月10日(火)	10:00~14:00	県上野庁舎会議室
6	11月12日(火)	10:00~14:00	県松阪庁舎会議室
7	2月18日(火)	10:00~14:00	県津庁舎会議室

ウ. 登録件数

区分	登録件数
刀 剣 類	357
古式銃砲類	45
計	402
登録数累計	46,302

※製作承認された登録刀剣
7件

エ 登録審査委員

松本 正利（任期 平成3年4月1日～平成5年3月31日）

荒木 知彦（任期 平成3年4月1日～平成5年3月31日）

西口 道男（任期 平成3年4月1日～平成5年3月31日）

樋口 長（任期 平成3年4月1日～平成5年3月31日）

(2) 三重県天然記念物日本鶏審査会

ア 目的 天然記念物日本鶏の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認められた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

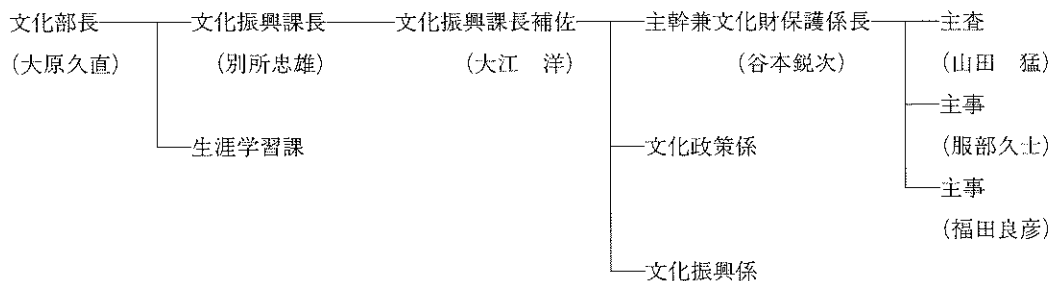
イ 日 時 平成3年11月10日(日) 9:00~15:00
 ウ 場 所 結城神社境内(津市結城町)
 エ 参加鶏等 参加鶏数 96件 適合鶏数 41番 3雄 登録鶏数 20番 4雄
 オ 審査員(任期 平成3年11月10日)
 山田 元一 鈴木 皓一 河村 逸彦

(3) 三重県天然記念物紀州犬審査会

ア 目 的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

イ 日 時 平成2年5月3日(日) 13:00~
 ウ 場 所 伊勢市営駐車場(伊勢市浦田町)
 エ 参加犬等 参加犬数 14頭 適合犬数 12頭 登録犬数 11頭
 オ 審査員(任期 平成3年5月3日)
 中根時五郎 谷川 義一 河田 光夫

5 組 織



(参考)

県内の国・県指定文化財

(平成4年3月31日現在)

指 定 区 分	有形文化財									無形民俗		記念物							選 定	選 択	計				
	国 宝		重 要 文 化 財							文 化 財		文 化 財		記 念 物											
	古 文 書	考 古 資 料	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	古 文 書 類	考 古 資 料	歴 史 資 料	芸 能	工 芸 技 術	有 形	無 形	特 別 史 跡	特 別 名 勝 及 び 天 然 記 念 物 跡	史 跡	名 勝	名 勝 及 び 史 跡	史 跡 及 び 名 勝	天 然 記 念 物		名 勝 及 び 天 然 記 念 物	天 然 記 念 物 及 び 名 勝	伝 統 的 建 物 群	記 録 作 成 等 の 措 置 を 構 ず べ き 無 形 の 民 俗 文 化 財
国	3	1	15	18	63	17	32	7	3		1	1	5	1	1	29	2	1		15		1	1	5	222
県			26	25	73	42	48	11	1	1	1	19	31			65	9		2	70	1				425

注 ・天然記念物のうち、地域を定めずに指定されている次のものは除いている。

特別天然記念物2件（カモシカ、オオサンショウウオ）

天然記念物10件（紀州犬、地鶏、小国鶏、鳥骨鶏、河内奴鶏、カラスバト、カンムリウミスズメ、ヤマネ、ネコギギ）

県指定天然記念物4件（イセナデシコ、イセギク、イセショウブ、オオダイガハラサンショウウオ）

・記録作成等の措置を構ずべき無形の民俗文化財に選択されている次のものは除いている。

県内全域にわたるもの4件（正月行事、年齢階梯制、木地屋の生活伝承、背負運搬習俗）

選択された後に指定されたもの3件（伊勢太神楽、磯部の御神田、安乗人形芝居）



西念寺防火訓練

引作の大クス

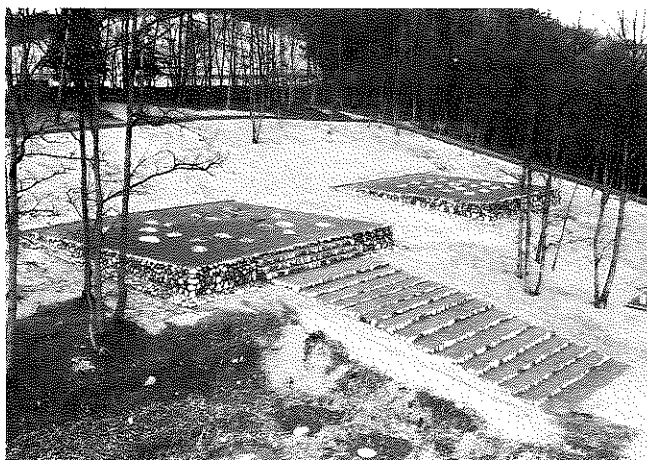




城之越遺跡



伊勢型紙



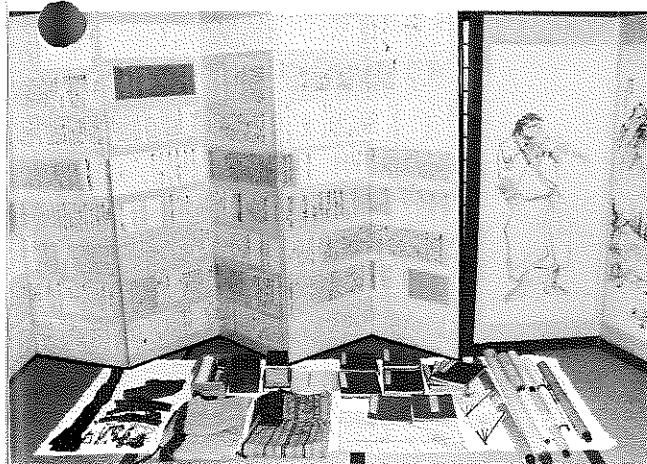
史跡等活用特別事業(夏見廃寺跡)



種生神社棟札



銅經筒



松浦武四郎関係資料

